

おかやま親子応援プロジェクト

#心の手でつながろう #だれもひとりではない #育ちを止めるな！

2022年3月16日 投稿者: 事務局

ウェブサイト移行のお知らせ

「おかやま親子応援プロジェクト」を応援いただいておりますみなさまへ

平素より大変お世話になっております。

先日こちらのページでもご案内をさせていただきましたが、本プロジェクトは2021年度内におきまして、子どもの孤立を防ぐための訪問支援と緊急避難等を支える「[KOTOMO基金](#)」へその活動を随時合流しております。

このたびこちらのウェブサイトにつきましても、「KOTOMO基金」へと統合をさせていただくこととなりました。

過去の投稿はPDFファイルとして残し、「KOTOMO基金」のサイト内へ移行致します。<https://kotomofund.jp/>

これまでみなさまにご寄付等の応援をいただきました活動につきましても、引き続きこちらのページでご紹介等をさせていただくことを予定しています。

改めまして、今後ともおかやま親子応援プロジェクト並びにKOTOMO基金を、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

📁 お知らせ

このサイトはスパムを低減するために Akismet を使っています。コメントデータの処理方法の詳細はこちらをご覧ください。

おかやま親子応援プロジェクト

#心の手でつながろう #だれもひとりではない #育ちを止めるな！

2021年10月18日 投稿者: 事務局

【支援者向け】 困難な状況にある家庭に気づき、支えるために ～令和3年度岡山市市民協働推進事業・子どもの居場所等支援団体ネットワーク交流会～

困難な状況にある家庭に気づき、支えるために

～令和3年度岡山市市民協働推進事業・子どもの居場所等支援団体ネットワーク交流会～

主催：NPO法人チャリティーサンタ、おかやま親子応援プロジェクト、社会福祉法人岡山市社会福祉協議会、岡山市

▼クリックするとPDFファイルが開きます▼



現在、コロナ禍でより一層厳しい状況に置かれた子どもたちへの支援活動が広がっています。

今回は、活動の中で見えてくる子どもの置かれた困難な状況への「気づき」を次のアクションにつなげた事例を共有することで、今後の支援活動の在り方について考えていきます。

ぜひお気軽にご参加ください。

(おかやま親子応援プロジェクト内の取り組みの一つである、「おかやま親子応援メール」の一環として実施致します)

◆開催日時◆

令和3年11月12日（金）14：00～16：00（受付開始13：30）

◆対 象◆

- ①生活困窮家庭の子どもの体験活動を支える仕組みづくりに取り組まれている団体・企業
- ②子どもの居場所づくりに取り組んでいる方
- ③ひとり親家庭や子どものいる生活困窮家庭への支援に取り組んでいる方
- ④新たに支援活動を実施・検討したいと考えている方
- ⑤支援活動を応援したいと思われている方
- ⑥子どもの貧困対策に関係する岡山市各課の職員 等

◆内 容◆ ※詳細はチラシ裏面をご覧ください。

＊＊活動報告＊＊

◇体験活動の重要性とコロナ禍での支援の広がり

◇子どもの居場所での『気づき』を新しい活動へ

◇KOTOMO基金の取り組み

＊＊意見交換＊＊

◆会 場◆

岡山市勤労者福祉センター 5階 体育集会室 （北区春日町5-6）

◆定員◆

100名

- ・会場参加50名
- ・オンライン参加50名

◆参加費◆

無料

◆申込締切◆

11月2日（火）

◆申込方法◆

以下のいずれかの方法にてお申込みください。

申し込みフォーム

<https://bit.ly/2WDUNov>

申込書(チラシ裏面)の送付先

社会福祉法人 岡山市社会福祉協議会

〒700-8546

岡山市北区鹿田町一丁目1-1

（岡山市保健福祉会館7階）

Tel：（086）222-8619

Fax：（086）222-8621

E-mail：chiiki@okayamashi-shakyo.or.jp

📧 お知らせ

このサイトはスパムを低減するために Akismet を使っています。コメントデータの処理方法の詳細はこちらをご覧ください。

おかやま親子応援プロジェクト

#心の手でつながろう #だれもひとりではない #育ちを止めるな！

2021年6月8日 投稿者: 事務局

寄付金の使途に関するご報告

2021年6月8日

クラウドファンディングを通じ応援いただきましたみなさまへ

おかやま親子応援プロジェクト 呼びかけ人

寄付金の使途に関するご報告

平素より おかやま親子応援プロジェクトへのご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。

422人のみなさまから3,752,000円のご支援をいただきスタートした本プロジェクトは、2020年度、コロナ禍で困難を抱える多数の親子を支えるための17のプロジェクトに活動資金の配分を行い、支援を届けることができました。(詳細は以下の報告をご参照ください)

[2021年5月31日：皆様への御礼と活動のご報告](#)

また昨年度はみなさまからのご寄付のほか、[地域再生大賞受賞](#)の際の賞金、民間助成財団からの助成金等により、当初予定していたよりも多くの資金的な支援を受けることができ、結果ご寄付のうち211,832円を今年度に繰り越すことができました。

[2021年4月19日：2020年度決算のご報告](#)

こちらの資金の使途につきまして、去る2021年6月2日に呼びかけ人一同により今後の取り扱いについて協議を行いました。その結果、子どもの孤立を防ぐための訪問支援と緊急避難等を支える「KOTOMO基金」へ寄付をすることを決定致しました。

本基金へ資金を引き継いだ上で、コロナ禍での親子支援へ活用を行って参ります。

KOTOMO基金は、呼びかけ人の一員である石原達也が代表理事を務める特定非営利活動法人岡山NPOセンターが事務局を担っております。しかしながら事務局に使途を一任するわけではなく、呼びかけ人一同いただいたお金への責任をもって使途を見守りますと同時に、みなさまへ取組についてご報告をさせていただくことをお約束致します。

みなさまにはぜひ今後もKOTOMO基金の活動を見守りいただきたく、そして、もしよろしければ引き続き応援をいただけますと幸いです。

<https://kotomofund.jp/>

またおかやま親子応援プロジェクトは、2021年度中は「おかやま親子応援メール」の活動を残し、以降全ての活動をKOTOMO基金へ随時合流して参ります。

より支援の手が届きにくい方へ支援を届けていけるよう今後も各団体の力を合わせて活動を行って参りますので、引き続きどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

<本件に関するお問合せ>

〒7000822 岡山県岡山市北区表町1丁目4-64 上之町ビル3階

特定非営利活動法人岡山NPOセンター KOTOMO基金担当 <https://kotomofund.jp/>

TEL：086-224-0995・FAX：086-224-0997

メール：okayama.oyako@gmail.com

業務時間：9：00～17：00(祝日を除く月曜日～金曜日)

 お知らせ

このサイトはスパムを低減するために Akismet を使っています。コメントデータの処理方法の詳細はこちらをご覧ください。

おかやま親子応援プロジェクト

#心の手でつながろう #だれもひとりではない #育ちを止めるな！

2021年5月31日 投稿者: 事務局

皆様への御礼と活動のご報告

おかやま親子応援プロジェクト参加組織一同より、寄付者のみなさまへ御礼のメッセージと寄付の配分を受けて実施した活動のご報告を申し上げます。

(順不同・敬称略)

● cococara okayama

[活動報告書_1cococara okayama](#)

ご寄付を頂きありがとうございました。コロナ渦の中でも安心してイベントを開催することができました。これからも岡山中で、お互いが助け合えるつながりを作っていけるように活動をしていきます。

● CAPおかやま

[活動報告書_2CAPおかやま](#)

たくさんの皆さんの温かいお心を頂戴して、場の安心を守る衛生用品を購入したり、専門家をお呼びして、安心感をお届けしたりすることができました。ありがとうございました。まだまだ、厳しい日々が続きます。身を守りながら、子育て中の方への暖かなまなざしやお心遣いをいただけましたら、幸いです。これからも、共に、子どもを！子どもを育てている家族を！暖かく支えていきましょう！お支えをいただき、本当にありがとうございました。

● おかやまメディアサポート

[活動報告書_3おかやまメディアサポート](#)

OMSはこれからも地域の方の為に、様々な関係企業や、NPO団体と連携して、情報ネットワークの構築や、発信のサポートができたと思います。今回このような機会を頂き、今回の活動がきっかけで、このプロジェクト以外の部分でも各団体と連携ができるようになりました。各団体の持っている強みをお届けする役目として、今後も尽力していきます。

● 岡山移住交流の会カモミール

[活動報告書_4岡山移住交流の会カモミール](#)

支援金のお陰で遊び道具や消毒液等の衛生用品を揃えることができ、安心して活動に取り組むことができました。

市民団体であり、活動においてボランティアでの活動がメインとなり資金の調達も難しく、継続が課題となっています。このような支援金はとてもありがたく、今年度も皆様の声に傾け、必要となる活動を続けて行きたいと思っております。ありがとうございました。

● 子育て広場まんなか

[活動報告書_5子育て広場まんなか](#)

この度は寄付を頂きありがとうございました。コロナ禍において誰もが大変な中、ご支援いただいた事本当に感謝しています。これからも、出張子育て広場として発展させ、多くの子どもたちに安心した子育て支援を続けていきます。

● NPO法人あかね

[活動報告書_6NPO法人あかね](#)

寄付者の皆様、この度は当団体の活動に支援金を頂き、誠にありがとうございました。

皆様からの支援金のおかげで、不登校や発達障害などの習熟度や特性にでこぼこがある子たちや、生活困窮世帯の子たちへレンタルを行い、家庭学習のための教材としてやコロナ禍でのオンライン学習支援のためのインフラとして機能しております。中には家族以外との関係がほとんどない引きこもりがちなお子様も数多くおります。そんな家庭にとっては今回レンタルすることができたタブレットが唯一社会と繋がるツールとなっているケースもあります。このタブレットを通じて子どもたちの思いや希望をつなげていきたいと考えております。

● NPO法人みんなの劇場・おかやま

[活動報告書_7NPO法人みんなの劇場・おかやま](#)

ご寄付を使わせていただいて、オンラインの子育て広場という新しい挑戦の機会をいただきました。

コロナ禍で子育てに行き詰っている保護者を支援し、それを通して、子どもたちのストレスも軽減でき、困難な状況を乗り越えることができるよう活動を続けてまいります。どうも、ありがとうございました。

● NPO法人志塾フリースクール岡山

[活動報告書_8NPO法人志塾フリースクール岡山](#)

今回は寄付をありがとうございました。

不登校状態の児童・生徒のアウトリーチ（訪問支援）については、理解等がまだまだで、寄付・助成金等がつきづらい感があります。（スタッフの人件費・経費などなど）。

そんな中でも、今回は交通費に寄付金を利用させていただき、本当に助かりました。

志塾フリースクール岡山訪問支援スタッフ・支援対象者家族から、感謝の気持ちを伝えたいと感じます。

改めまして、今回は貴重な寄付をありがとうございました。大変、感謝です。

● NPO法人東備子どもNPOセンター

[活動報告書_9NPO法人東備子どもNPOセンター](#)

皆さんの寄付により、相談対応から直接の支援まで行うことができる支え合いのシステムを拡充できました。また、子育て家庭が利用しやすいよう、利用料金の一部補助もできました。

相談したり、いざという時に頼ったりできる人が地域にできるということは、毎日の大きな安心感に繋がっています。ご協力、本当にありがとうございました！

● 一般社団法人医と食でつながる瀬戸大橋LINE laboratory

[活動報告書_10一般社団法人医と食でつながる瀬戸大橋LINElaboratory](#)

コロナ対策用の洗剤など、繊細な妊婦さんや、親子さん、マスクのできない子供さんにとってもありがたがられております。

コロナ渦中で妊婦さんや新生児を抱えたお母さんのためのケアは、不安は免疫力も下げるので必要性があります。また、賃金減少が原因で、ご家庭の不安が増大していることで、少しでも安心していただくことができました。

心より感謝を申し上げます。

ありがとうございました。

● 一般社団法人北長瀬エリアマネジメント

[活動報告書_11一般社団法人北長瀬エリアマネジメント](#)

この度は、貴重な寄付を当法人にも使わせていただきありがとうございました。

まだまだ、課題は多くありますが、取り組んでいる活動を継続して運営をしていきたいと思っております。

● サンサポートオカヤマ

[活動報告書_12サンサポートオカヤマ](#)

妊娠中、不安定になる時期もあるお母さんの心にも寄り添う支援となりました。たくさんの方より応援・ご支援頂き本当にありがとうございました。

● NPO法人チャリティーサンタ

[活動報告書_13NPO法人チャリティーサンタ](#)

新型コロナの影響を受けるなか、集まることが困難となり、オンラインを通じての活動も増える一年となりました。

家庭も勿論ですが、家庭を支援する団体にとっても活動の変更やお金や準備に時間がかかる一年となりました。

そんな中、企業から当団体にたまたま良質なヘッドホンの提供の声をいただきました。私たちだけではそのヘッドホンやイヤホンを活かすことは十分にできなかったかもしれませんが、今回のおかやま親子応援プロジェクトに関わるみなさまをはじめ、家庭支援に関わる団体のみなさまにお届けすることで、家庭への活動の充実化などを行うことができました。

みなさまにいただいた寄付金を得て、良質なヘッドホンなどを得ることができ、また活動に参加する家庭のサポートを行うことができました。

心より感謝申し上げます。

● NPO法人だっぴ

[活動報告書_14NPO法人だっぴ](#)

この度は、おかやま親子応援プロジェクトにご寄付いただきまして、誠にありがとうございました。子どもたちの豊かな育ちが、親への良い影響を与えるということで、今回のチャレンジを通してよく分かりました。社会全体で子どもや家庭を支えていくことの重要性和、それを肌感覚をもって理解することの大切さ。今後の挑戦に活かしていきたいと思っておりますので、引き続き何卒よろしく願いいたします。

● NPO法人岡山NPOセンター

[活動報告書_15NPO法人岡山NPOセンター](#)

本当に大勢の方からご支援をいただき、まことにありがとうございました。子どもたちの育ちを止めないために自分たちができることを、手探りしながらひとつずつ取り組んできた一年となりました。感染防止のために、なかなか体験活動を提供できないというもどかしさを抱えつつ、「なんとか安全に開催し、安心して参加してもらえよう状況をつくりたい」という思いから、今回の勉強会を企画しました。

みなさまからご支援をいただいたおかげで、講師をお招きすることができ、また、動画（クリアな映像と音声）にて記録を残すことができました。その場限りでなく、後々までご活用いただける勉強会が開催できたのは、みなさまのご支援と応援があったからです。

コロナウイルスは依然として猛威をふるっていますが、引き続きみなさまと共に、子どもたちの育ちを支えていくべく、頑張っまいるたい

と思います。

心からの応援、本当にありがとうございました。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

● NPO法人岡山市子どもセンター

[活動報告書_16_NPO法人岡山市子どもセンター](#)

みなさまのご支援のおかげでひとり親世帯の親子に舞台芸術鑑賞に触れる機会を届けることができました。感謝申し上げます。引き続き、多くの方々と繋がりながら子どもが豊かに育つ環境づくりに邁進していきます。今後ともよろしくお願いいたします。

● 公益財団法人YMCAせとうち

[活動報告書_17公益財団法人YMCAせとうち](#)

コロナの中だからこそ、やるべき課題がたくさんあると認識できた機会でした。これからも子どもとその家族の育ちを止めないために、さまざまな支援活動を継続していきます。何卒ご支援のほど、よろしくおねがいします。

● おかやま親子応援プロジェクト

[活動報告書_18おかやま親子応援プロジェクト](#)

改めまして、このたびは本プロジェクトへのご理解とご支援、また温かい応援をいただき誠にありがとうございました。新型コロナウイルスによる感染症の拡大は残念ながら今日においても続いており、私たちの取り組みも形を変えながら継続していくことを予定しております。活動のご報告についてもより充実させ、みなさまへお伝えできればと思いますので、今後とも引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

 お知らせ

このサイトはスパムを低減するために Akismet を使っています。コメントデータの処理方法の詳細はこちらをご覧ください。

おかやま親子応援プロジェクト

#心の手でつながろう #だれもひとりではない #育ちを止めるな！

2021年4月19日 投稿者: 事務局

2020年度決算のご報告

2020年度の決算報告を以下に公開致しました。

以下のリンクをクリックしてご参照ください。(PDF : 245 KB)

[okayamaoyako_2020kessann](#)

 お知らせ

このサイトはスパムを低減するために Akismet を使っています。コメントデータの処理方法の詳細はこちらをご覧ください。

おかやま親子応援プロジェクト

#心の手でつながろう #だれもひとりではない #育ちを止めるな！

2021年2月1日 投稿者: 事務局

クラウドファンディング実施報告書を発行致しました

本事業の中間報告書となる「おかやま親子応援プロジェクト レポート」を発行致しました。

本レポートはクラウドファンディングの返礼品として、ご支援いただきましたみなさまへ2020年12月24日(木)以降ヤマト運輸のDM便にてお送りしております。お手元に届きましたら、御笑覧いただけますと幸いです。

※未だお手元に届かない、という方がおられましたら、お手数ですがプロジェクト事務局までご一報いただけますと幸いです。

このたび、本レポートのデータ版を公開致します。

なお冊子版のご送付はクラウドファンディングの御支援者様のみとなりますので、ご了承ください。

↓ 以下の画像をクリックするとPDFファイルが開きます(12MB) ↓



📧 お知らせ

このサイトはスパムを低減するために Akismet を使っています。コメントデータの処理方法の詳細はこちらをご覧ください。

おかやま親子応援プロジェクト

#心の手でつながろう #だれもひとりではない #育ちを止めるな！

2020年12月24日 投稿者: 事務局

【2021年1月15日】オンライン活動報告会を開催します

6月25日まで実施致しました約一か月間のクラウドファンディング、無事に達成できましたのは、ほかでもないみなさまからの力強い応援があったからこそです。みなさまのおかげで、「おかやま親子応援プロジェクト」のスタート地点に、しっかりと立つことができました。心より感謝申し上げます。

このたび、おかやま親子応援プロジェクトの活動報告会を下記日程にて配信致します。ぜひご視聴いただけますと幸いです。

■日 時■

2021年1月15日(金)15:00-17:00

■内 容■

プロジェクト参画団体による活動報告、プロジェクトの今後について

■主 催■

おかやま親子応援プロジェクト

■配信URL■

https://youtu.be/275sF_AjU0w

📧 お知らせ

このサイトはスパムを低減するために Akismet を使っています。コメントデータの処理方法の詳細はこちらをご覧ください。

おかやま親子応援プロジェクト

#心の手でつながろう #だれもひとりではない #育ちを止めるな！

2020年11月4日 投稿者: 事務局

【11月28日(土)】サロン結親子カフェ

サロン結 親子カフェ

日 時：2020年11月28日(土)10:00～15:00

会 場：サロン結

運営事務局：NPO法人オカヤマビューティーサミット

サロン結 親子カフェ

11/28(土)
10:00~15:00
@サロン結



ママさん シンママさん プレママさんもみんなでワイワイ楽しもう♡
親子カフェ

子育てやお家の不安、一人で抱え込まないで！
ママ同士で子育てあるあるや、子育てのお悩み…
これからママになる不安など、
みんなで相談してスッキリハッピー♪

お子さん同士の交流など、お気軽に参加ください。
お茶とお菓子を用意しています。

参加費：1名につき 100円



あなたは何色を選ぶ？
カラーセラピー

自分の深層心理を知って
気持ちを整理したり
スッキリしませんか。

色を味方につけて
自分らしい人生を。

参加費：15分/1,500円



気分はエステティシャン♪
子どもお仕事体験

将来売れっ子エステティ
シャンになるかも！？

お子さんがママにエステ☆
触れ合いを楽しんで♪

参加費：無料



ポカポカ気持ちいい♪
ハンドマッサージ
足裏マッサージ
参加費：10分/500円！



※新型コロナウイルス対策※
定員数制限のためにご来店は完全予約制となります。
マスク着用・消毒のご協力お願いいたします。

会場・お問い合わせ先

トータルビューティ研修センター&サロン「結」
岡山県岡山市北区下石井2-9-26
080-2387-3313
tbkc.yui@gmail.com

LINE友達登録をしてお得な情報GET!
LINEからご予約できます！



follow me!

@tbkcyui

@tbkcyui

@272aegkz



おかやま親子応援プロジェクト

#心の手でつながろう #だれもひとりではない #育ちを止めるな！



話したいことを
オンラインで
気軽に話そう



2020年9月22日 投稿者: 森分志学

話したいことをオンラインで気軽に話そう

子どもと大学生と大人がオンラインで出会い、子どもたちが話したいことや聞きたいことを主題におしゃべりするだけの企画です！

初めて出会う、関係のない他者だからこそ話せることがある。

「自分の好きなことを話したい」

「誰かに聞いてもらいたいことがある」

「相談してみたいことがある」

など、何でもOKです！

概要

日時 2020年10月4日（日）①10：00～10：45 ②11：00～11：45

対象 小学生・中学生・高校生

定員 各回2名ずつ（先着順）

費用 無料

参加方法 オンライン（zoomを使用します）

内容

お子さん（1人）と大学生1人、大人1人がzoomに集まり、子どもたちが話したいことや聞きたいことを主題におしゃべりするだけの、自由なおしゃべりの場です！

今回は、大人枠として、楽天の社員さん（有志）にご協力いただきます！

[お申込](#)

大学生たち

参加する大学生メンバーを簡単に紹介します！

《あすこ》

外国語学部です。文芸サークルなどに入っています。
趣味は読書と美術館などへ行くことです。

《かじ》

医療福祉学部臨床心理学科、パラスポーツサークルを作っている途中！
趣味はゲーム。最近はゆるスポーツに初めて参加しました！

《あかね》

環境問題と化学について学んでいます。
漫画・アニメとか好きです！あと旅行や料理も！

主催・お問合せ

おかやま親子応援プロジェクト オンラインまなびば事務局
メールアドレス：online.manabiba.okayama@gmail.com

【プロジェクト実行団体】

NPO法人だっぴ
サンサポートオカヤマ
公益財団法人YMCAせとうち

👉 中学生, 小学生, 高校生

このサイトはスパムを低減するために Akismet を使っています。コメントデータの処理方法の詳細はこちらをご覧ください。

おかやま親子応援プロジェクト

#心の手でつながろう #だれもひとりではない #育ちを止めるな！

公衆衛生学の専門家と学ぶ

コロナだからこそ、
なんとかしたい人。
大歓迎

コロナ対策ケーススタディ

YoutubeLive同時配信あり。



最近の
ウィルス動向

ワクチン開発
の現状

事例報告①
公益財団法人
YMCAせとうち
ケース：野外活動

事例報告②
NPO法人
子どもセンター
ケース：舞台芸術鑑賞

事例報告③
NPO法人
だっぴ
ケース：ワークショップ

日時	2020年10月5日（月曜日） 15時～17時
会場	ハッシュタグ ＊岡山市内、JR北長瀬駅から徒歩3分
定員	先着20名 ＊コロナ感染対策のため、人数を制限しています。
参加費	無 料（おかやま親子応援プロジェクト 主催企画）
講師	土居弘幸教授（岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 特命教授）

お申込み・お問い合わせ先
#だれもひとりではない | おかやま親子応援プロジェクト

mail	okayama.oyako@gmail.com
申込み	QRコードよりお願いします。
URL	https://okayama-oyako.jp/



2020年9月17日 投稿者: 事務局

【10/5】公衆衛生学の専門家を学ぶ「コロナ対策ケーススタディ」
開催します！（Youtube同時配信あり）

公衆衛生学の専門家を学ぶ 「コロナ対策ケーススタディ」 (Youtube Live 同時配信あり)

▼画像をクリックすると拡大表示されます



講 師

土居 弘幸さん (岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 特命教授)

日 時

2020年10月5日(月)15:00-17:00

会 場

ハッシュタグ岡山

〒700-0962岡山市北区北長瀬表町二丁目17番80号 BRANCH岡山北長瀬)

<https://oka-kitanagase.hashtags.biz/top/access>

※JR北長瀬駅より徒歩3分

※オンライン参加可能：YoutubeLive 同時配信あり

定 員

20名 ※コロナ感染対策のため、人数を制限しています。

参加費

無料

お申込みは以下のフォームよりお願いいたします。

📩 お知らせ

このサイトはスパムを低減するために Akismet を使っています。コメントデータの処理方法の詳細はこちらをご覧ください。

おかやま親子応援プロジェクト

#心の手でつながろう #だれもひとりではない #育ちを止めるな！

2020年7月29日 投稿者: 岡山チャリティーサンタ

ひとり親のみなさんが気軽に話せるサロンを開催！

1人で子育てをがんばっているお母さん！お父さん！こんな時だからこそ、肩の力を抜いてひとり親の仲間たちとお話ししてませんか？先輩シングルマザーがお出迎えします＊

チラシ：<https://bit.ly/335wLnQ>



【日時】8月9日（日）13：30～15：30（＊途中入退場可＊）

【場所】操山公民館（中区福富3丁目9-12）

【参加費】無料（お茶・お菓子・手作りマスクのプレゼント付き）

【対象】岡山市内在住の母子・父子家庭の親（当日託児あり）

【募集人数】保護者10名程度

【締め切り】8月6日（木）

※応募多数の場合、抽選とさせていただきます。7日（金）に結果をお送りいたします。

【申し込み】メール⇒ok.boshikai@gmail.com

（お申込の際は名前、年齢、連絡先（メール・電話番号）託児の必要な人数とお子様の名前、年齢を書いてお申し込みください。）

【お願い】

サロン開催にあたっては、政府が示した新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン及び岡山市立公民館における新型コロナウイルス感染症対策指針に基づいて感染防止策を講じた開催となります。参加の皆様においても、体調管理を行い不安のある方は、感染症拡大防止の観点から参加をご遠慮いただくか、または、ご理解をいただいたうえでのご参加となります。尚、今後の状況によっては、会を中止する可能性がありますことをご了承ください。

【託児について】

＊密を避けるため、10名程度を予定

本会場のひろさは200名入る広い会場になっており、同室内に子どもたちが遊べる空間をつくる予定です。（そこにスタッフが数名お子様のご様子を見守る形を考えています）

赤ちゃんなど抱っこが必要な乳幼児のお子様は基本、保護者様とご一緒にお過ごしいただければと思います。

📧 お知らせ

このサイトはスパムを低減するために Akismet を使っています。コメントデータの処理方法の詳細はこちらをご覧ください。

おかやま親子応援プロジェクト

#心の手でつながろう #だれもひとりではない #育ちを止めるな！

2020年7月29日 投稿者: 岡山チャリティーサンタ

自分のホームページをつくろう！「みんなで遊ぼうプログラミングスクール」

自分のホームページをつくろう！ 「みんなで遊ぼうプログラミングスクール」

主催団体：公益財団法人YMCAせとうち

【内容】

ホームページの基礎を学び、実践します！

前回の企画でも「子どもの成長を感じることができた！」とご感想をいただいています。

通常は28000円かかるものですが、申し込み条件に当てはまる方は費用はかかりません。（応募多数の場合抽選）

ぜひご覧くださいね。

- 日程：8月13日（木）～15日（土）3日間日帰り（3日間参加出来る方）
- 時間：9時30分～16時30分
- 場所：岡山県生涯学習センター（岡山市北区伊島町）
チラシ：<https://bit.ly/2P4NPIr>

【申込み締切】～7/31（金）17時まで

【申込み条件】次のいずれかに当てはまる方（無料で参加できます）

- 1, 2018年7月の西日本豪雨で被災された方
- 2, ひとり親世帯で経済的困難な中になる方
- 3, コロナの影響を受けて経済的に困難な状況にある方
（お子様は10歳～15歳が対象です）

【申込方法】

下記のリンクからお申し込みください。

<https://bit.ly/32ZcQXA>

【当落のご連絡】

8月3日(月)までに、当落の結果に関係なくメールでご連絡いたします。

（当選された方には、申込方法、参加要項などをメールでお送りいたします。）

【お問合せ先】

公益財団法人YMCAせとうち

メールにてお問い合わせください。info@ymcaokayama.org

おかやま親子応援プロジェクト

#心の手でつながろう #だれもひとりではない #育ちを止めるな！



オンラインで 会おう

MEET DIFFERENT
PEOPLE ONLINE



2020年6月30日 投稿者: 森分志学

オンライン異年齢交流「オンラインで会おう」

子ども・若者がオンラインで様々な人と出会い、お話する機会をつくっていきたいと思っています！

今回は、楽天株式会社の社員さん（有志）4名に集まっていただき、中高生・大学生と少人数でお話していきます。

概要

日時 2020年7月9日（木）19：00～20：30

対象 中学生・高校生

定員 5名程度

参加方法 オンライン（zoomを使用します）

内容

中高生と大学生、楽天社員さんがzoomに集まり、ブレイクアウトルームを使って、少人数のグループに分かれて、それぞれのグループで話をしたいことをざっくばらんにお話する。そんな自由なおしゃべりの場です！

楽天社員さん4名、大学生4名に集まってもらう予定です。



ブレイクアウトルームでの対話イメージ

お申込

お申込後、ご登録いただいたメールアドレスに当日参加用のzoomのURLが返信されます。

主催・お問合せ

メールアドレス：okayama.oyako@gmail.com

【プロジェクト実行団体】

NPO法人だっぴ

サンサポートオカヤマ

NPO法人岡山市子どもセンター

公益財団法人YMCAせとうち

👉 中学生, 高校生

このサイトはスパムを低減するために Akismet を使っています。コメントデータの処理方法の詳細はこちらをご覧ください。

おかやま親子応援プロジェクト

#心の手でつながろう #だれもひとりではない #育ちを止めるな！

大学生アルバイト募集中！

活動期間

平日：(放課後)19:00-20:30

土日：(午前中)10:00-12:00

2020年6月～8月中の活動を予定

新型コロナウイルスの影響でアルバイトが減ったり、なくなったりしてしまった学生さんを応援しています。

[詳しくはこちらをクリック！](#)



2020年6月1日 投稿者: 事務局

大学生サポーター募集中！

学生の方へ | 「子どもたちの学習支援」学生サポーター募集中！

詳しくは以下のURLをご参照ください。

http://okayama-oyako.com/recruiting_student_supporters/

📌 お知らせ

このサイトはスパムを低減するために Akismet を使っています。コメントデータの処理方法の詳細はこちらをご覧ください。

おかやま親子応援プロジェクト

#心の手でつながろう #だれもひとりではない #育ちを止めるな！



♥NPO法人だっぴ
♥(公財)YMCAせとうち
♥サンサポートオカヤマ

岡山県内の大学生が応援します！
集合型学習会
「オンラインまなびば」
対象：小学4年生～中学生3年生 *参加者募集中*

2020年6月1日 投稿者: 事務局

集合型学習会「オンラインまなびば」

2020年6月6日(土)より、集合型学習会「オンラインまなびば」がはじまります！

岡山県内の大学生が中心となって、子どもたちの勉強をサポートします！

「長い休校で勉強の遅れが気になるけれど、学習塾へは通えないなあ」という親御さん、
「久しぶりの学校、勉強や生活がちょっと心配だなあ」と感じている子どもさん、
ぜひ一度お兄さん・お姉さんに相談してみませんか？

対 象：岡山県内に在住の、小学4年生から中学3年生までの方。

内 容：宿題や学校の勉強のご相談など

参加費：無料

参加方法・お申込みは以下のページをご覧ください。

>>保護者の方へ

http://okayama-oyako.com/information_for_parents/

>>大学生サポーター(アルバイト)も募集しています！

http://okayama-oyako.com/recruiting_student_supporters/

小学生

このサイトはスパムを低減するために Akismet を使っています。コメントデータの処理方法の詳細はこちらをご覧ください。

おかやま親子応援プロジェクト

#心の手でつながろう #だれもひとりではない #育ちを止めるな！

プロジェクトについて

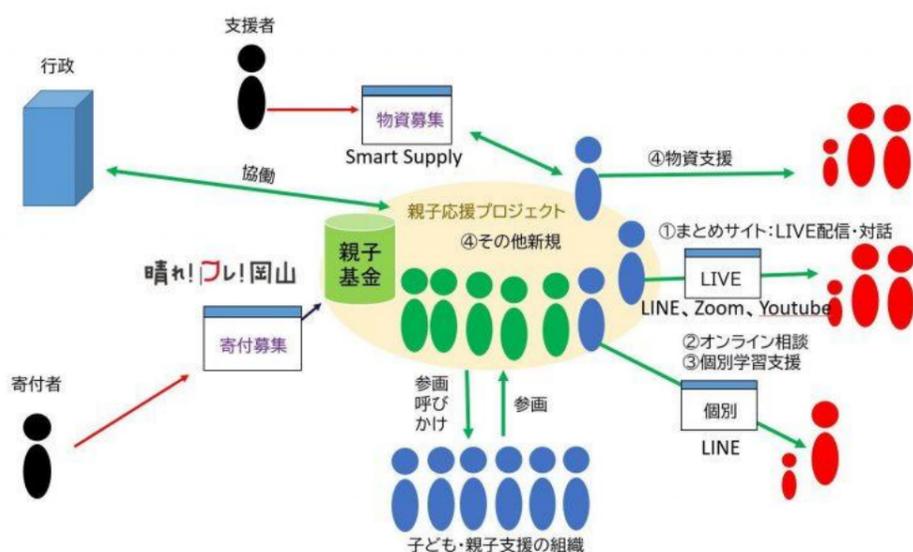
おかやま親子応援プロジェクトとは？

岡山県内で活動している、子どもや親子支援を行う民間組織（NPO/サークル/企業など）が連携し、子どもや各家庭を「ひとりにしない」ために、さまざまな体験や学習支援、必要な物資を家庭に届けるプロジェクトです。

多くの組織がプロジェクトに参加することにより、多くの家庭との接点を作れると考えています。そして、各組織が連携することで、1つの組織だけではできない幅広い支援を届けることができます。また、県などの行政機関とも連携して取り組みを行っていきます。

プロジェクトの概要

おかやま親子応援プロジェクト



おかやま親子応援プロジェクトは 5つの手法で連携支援を展開します。合同での取り組みは以下をスタートとして、順次、参加組織での対話により拡張していきます。

- ①参加組織が行う様々な親子向けのオンライン支援（遊び、体験、学習など）のポータルサイトをつくり、様々な情報を届けます。
- ②ポータルサイトで親の様々な悩みに対応するオンライン相談をマッチングします。
- ③ポータルサイトで学習の遅れが心配な小中学生に対するオンライン個別学習支援のマッチングをします。 [\[詳細\]](#)
- ④①～③の必要物や、または様々な面で苦しい家庭などへのオンラインでの物資募集と支援をします。 [\[詳細\]](#)
- ⑤合同で「だれもひとりではない」というメッセージを発信していきます。 [\[詳細\]](#)

このプロジェクトの呼びかけ人

公益財団法人YMCAせとうち 代表理事 太田 直宏



「ポジティブネットのある豊かな社会を創る。」この目的を達成するために、YMCAはこの世に生存してきました。そして、みつかる。つながる。よくなる。という価値をわたしたちは提供し続けてきました。ただその価値を伝達するためには、三密という環境が有益だったのです。しかし、時代は既に変わってしまいました。これから、このコロナインパクトの中にあって、何ができ、しなければならぬか？共に考えることができる仲間を募集しています。

<団体ウェブサイト> <http://ymca-setouchi.org/>

NPO法人岡山市子どもセンター 代表理事 美咲 美佐子



当法人のリーフレットの表紙には、「体験は、子どものビタミン。」と書いています。新型コロナウイルス感染拡大により、その大切な体験が不足してきています。多くの皆様が参画するこのプロジェクトを通して、すべての子どもたちに体験のビタミンを届けていきたいと思ひます。

<団体ウェブサイト> <http://www.kodomo-npo.jp/>

サンサポートオカヤマ 代表 ボウズ 満恵



私自身も子育て中の母親として皆さんと同じように不安を感じることがあります。子どもたちの成長と共に保護者の方のためにもいま必要なことは『安心できる繋がり』と感じています。コミュニティの輪を広げ一緒に笑顔の瞬間を増やしましょう！

<団体ウェブサイト> <https://www.sunsupportokayama.org/>

NPO法人だっぴ 代表理事 森分 志学



新型コロナウイルスの影響で生活が変わり、子ども・若者の学びにも変化が訪れています。こんなときに豊富な地域資源を生かせる体制があれば、できることはかなり増えるはず！皆さんと一緒に僕もチャレンジしたいです！

<団体ウェブサイト> <http://dappi-okayama.com/>

NPO法人チャリティーサンタ 理事 河津 泉



資源を持つ企業、ノウハウを持つ団体、そして子どもの笑顔のために何かをしたい個人が手を取り合うことで、子どもや親子を支えられると信じています。「子どもたちの体験のために自分たちにできること」を見つけていきましょう！

<団体ウェブサイト> <https://www.charity-santa.com/>

NPO法人岡山NPOセンター 代表理事 石原 達也



これまでにないことが起こっている今、それぞれができることを少しずつ積み上げていくことこそが突破法だと思っています。これまで培ってきたこと、その誇りと自信をもって一緒にこの事態に取り組んでいきましょう。

<団体ウェブサイト> <http://www.npokayama.org/>

参加団体

<敬称略・参加日順> 2021年2月10日時点/31団体・個人4名

・NPO法人オカヤマビューティサミット [\[活動紹介\]](#)

・CoderDojo岡山

・一般社団法人おいでんせえ岡山

・一般社団法人医食ラボ

・サンサポートオカヤマ [\[活動紹介\]](#)

・日本子どもサポーター

・特定非営利活動法人だっぴ [\[活動紹介\]](#)

・NPO法人岡山市子どもセンター [\[活動紹介\]](#)

・くらしのたね [\[活動紹介\]](#)

・YMCAせとうち [\[活動紹介①\]](#) [\[活動紹介②\]](#)

- ・cococara okayama [\[活動紹介\]](#)
- ・飛鳥ガーディアングループ
- ・NPO法人チャリティーサンタ [\[活動紹介\]](#)
- ・子育て広場 まんなか
- ・岡山移住交流の会カモミール
- ・黒住教青年連盟
- ・NPO法人よりはぐプロジェクト
- ・岡山・子育て・体験活動グループ『HUG+KUMU～はぐくむ～』
- ・特定非営利活動法人 東備子どもNPOセンター
- ・NPO法人あかね
- ・志塾フリースクール岡山
- ・認定NPO法人子どもシェルターモモ
- ・NPO法人 みんなの劇場おかやま
- ・NPO法人真庭めぐりガーデンプロジェクト
- ・OMS(おかやまメディアサポート)
- ・NPO法人子育て応援ナビぽっかぽか
- ・CAPおかやま
- ・NPO法人 チーム響き
- ・一般社団法人北長瀬エリアマネジメント
- ・cotocoto.coto
- ・NPO法人岡山NPOセンター [\[活動紹介①\]](#) [\[活動紹介②\]](#)
- ・個人の方 4名

※「ままライン」さんは団体の解散のため2021年2月3日にてプロジェクトを抜けられました。

参加団体を随時募集しています。

＜参加組織に加わる方法＞

それぞれの動きを大切にしながら、手をつないで取り組みませんか？参加組織に加わっていただけるNPO・NGO、企業、サークルなどの方は、以下の申込フォームより、お申し込みをください。メールまたはfacebookにてご連絡をさせていただきます。参加いただいた組織の名称などは本ページなどでご紹介させていただきます。岡山県内の親子支援のために、独自でオンラインでの取り組みや相談をされている組織や、その他、支援となるプロジェクトの実行に加わってくださる組織が対象です。また、効率の良い連絡調整を行うために、facebookでの共有を行う予定ですので、アカウントをお持ちでない方はご相談ください。

＜ご参加いただきたい組織・団体＞

① 独自で遊び、体験、学習などのオンライン対面プログラムを展開されている・する予定の組織。

※個々で行われているものを取りまとめたの情報発信（時間割の提供）を考えています。

② ①を行うために必要な物資、または経済的に苦しい家庭への「スマートサプライ(*以下のフォーム内に詳細記載)」を活用したオンラインでの物資支援を行いたい組織。（システムを利用するための準備などをサポートします。）

③ 親の様々な悩みに対応するオンライン相談へ対応くださる組織。

④ 合同でのメッセージの発信に加わってくださる組織。今、妊娠している・出産したママ向けのメッセージ など。

※これ以外の取り組みも順次、協力して行っていきます。

※特定の宗教の普及、候補者の応援、書品の販売目的等の趣旨と反する参加や、また参加団体を誹謗中傷するための参加はご遠慮ください。

<https://forms.gle/oW6dP2zixqkkQsr9A>

おかやま親子応援プロジェクト

#心の手でつながろう #だれもひとりではない #育ちを止めるな！

LIVE配信

学習会

・2020年10月05日「公衆衛生学の専門家から学ぶ『コロナ対策ケーススタディ』」[\[詳細\]](#)



YMCAせとうち＊おかやま親子応援プロジェクト オンライントークライブ 「こどもの育ちをとめないために。」

おかやま親子応援プロジェクト呼びかけ人が語り尽くす、90分。
今こそ、こころの手をつなごう ～こどもの育ちをとめないために。

[\[詳細\]](#)

・2020年12月17日「おかやま親子応援プロジェクト 第3回オンライントークライブ 今こそ、こころの手をつなごう～こどもの育ちを止めないために 『だっぴ卒業生と語る、若者と大人のつながり』」[\[詳細\]](#)

・2020年11月24日「おかやま親子応援プロジェクト 第2回オンライントークライブ 今こそ、こころの手をつなごう～こどもの育ちを止めないために 『サンタクロースって、いるのですか?』」[\[詳細\]](#)

・2020年10月26日「ポストコロナ時代を見据えて～発災から約4ヶ月。熊本の被災地は今どうなっているのか？現地との対話でできることを考える」[【詳細】](#)

・2020年10月19日「体験はビタミン。舞台芸術鑑賞と外遊び」[【詳細】](#)

・2020年9月30日「OMS 10時間テレビ 岡山から地球を救う」にて、おかやま親子応援プロジェクトトークライブ放映[【詳細】](#)

チャリティートークライブ

呼びかけ人団体である「公益財団法人YMCAせとうち」が主催した、「おかやま親子支援プロジェクト支援金」へのご寄附につながるチャリティートークライブです。

・2020年8月07日「ポストコロナ時代を見据えて～「看取りと葬儀を考える②キリスト教の視点から」」[\[詳細\]](#)

・2020年7月29日「ポストコロナ時代を見据えて～看取りと葬儀を考える①：仏教の視点から」

・2020年7月27日「ポストコロナ時代を見据えて～熊本^①の被災地は今どうなっているのか？今他地域に住むわたしたちにできることは？」[\[詳細\]](#)

・2020年7月20日「ポストコロナ時代を見据えて～感染症時代の恋愛事情あれこれ 恋する君たちへ」

・2020年7月04日「ポストコロナ時代を見据えて～わたしたちは、どう生きていくのか？ライブ音楽再開の可能性とオンラインの革新性」[\[詳細\]](#)

・2020年6月24日「ポストコロナ時代を見据えて～わたしたちは、どう生きていくのか？こどもの育ちと自然体験～センスオブワンダーの心。」[【詳細】](#)

・2020年6月18日「ポストコロナ時代を見据えて～わたしたちは、どう生きていくのか？組織的教育キャンプの歴史に学び、これからを考える」[【詳細】](#)

・2020年6月11日「ポストコロナ時代を見据えて～私たちはどう生きるのか？スポーツ文化とはなにか～FOOTBALLのこれから」[【詳細】](#)

・2020年6月08日「ポストコロナ時代を見据えて～私たちはどう生きるのか？イントロダクション ポストコロナ時代のSDGsを考える」[【詳細】](#)

おかやま親子応援プロジェクト

#心の手でつながろう #だれもひとりではない #育ちを止めるな！

保護者の方へ | オンライン学習支援

<重要なお知らせ>

おかやま応援プロジェクトによるオンライン学習支援は、プロジェクト参画団体のひとつである「NPO法人ハレハハ」へ引き継いで実施しています。お問合せは「[NPO法人ハレハハ](https://harehaha.or.jp/)」までお願い致します。

<https://harehaha.or.jp/>

—以下、過去の情報を掲載しております。—

1. 学習支援プロジェクトご案内

「分からなくて、楽しくない」を「分かるから、楽しい」に。

学習支援プロジェクト『オンラインまなびば』では、学校の学習スピードにはついていくのが難しい小中学生が「できた！」「分かった！」の体験を、その子のペースで実現することを目指します。

子どもの学びを「学校」「家庭」の外から支え、少しでも親子の助けになりたいと思っています！

現在、休校によるカリキュラムの遅れを取り戻す必要がある学校において、「その学習スピードに全ての子どもがついていけるだろうか」という不安もあります。学習塾などで学習の遅れが補完できればよいのですが、子ども全員が学習塾に通えるわけでもありません。

このプロジェクトでは、そうした学習の遅れに不安を抱えるご家庭を支援すべく、大学生が子どもたちの勉強のサポートなどをオンラインで実施します。

■対象となる要件

- ・小学4年生～中学3年生 ※対象学年以外でもご希望の方はお問合せよりご相談ください
- ・学習塾に通っていないこと

■以下のいずれかの状態にある子どもを主な対象としています

- ・勉強が分からない
- ・学校の学習スピードについていけない
- ・学習意欲を持ちにくい
- ・不登校である

オンラインまなびばのポイント

ポイント①

分からなかったことが理解できることで自信がつく！

ポイント②

個別対応なので本人の苦手なところを重点的に学ぶことができる！

ポイント③

同じ大学生が定期的に関わって信頼関係をつくる中で、コミュニケーション力を学ぶことができる！

ポイント④

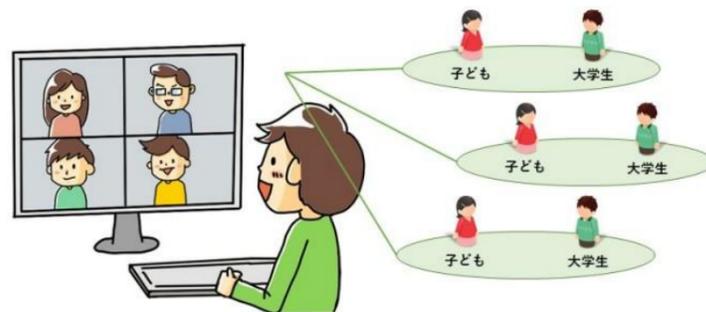
「会場まで連れていけない」などがなく、ネット環境があれば移動の必要なくどこからでも学べる！

プロジェクト内容

子どもたちの学びをサポートする役として、**大学生が1対1で伴走**します。

オンラインでの実施となるため、各自PCのご準備やzoomのインストールをお願いしております。

集合型学習会 「オンラインまなびば」



子どもと大学生全員がオンラインで集合後、**1対1の個別ルーム**に分かれて、子どもと大学生で時間を過ごします。

①集合型学習会「オンラインまなびば」

子どもと大学生、お互いの関係性ができていないまま1対1というのも難しいので、まずは集合型の学習会に参加します。集合型学習会「オンラインまなびば」では、小中学生5～10人、大学生5～10人がオンラインで集まり、区切られた時間の枠の中で、1対1の時間を過ごします。その時間では、宿題をやったり、大学生とお話したりできます。

対象：小学4年生～中学生3年生（対象学年以外でもご希望の方はご相談ください）

参加費：無料

参加人数：各回5～10人

②個別学習支援「オンラインまなびば1ON1」

個別学習支援 「オンラインまなびば1 on 1」



集合型学習会に参加後に日程調整等を行い、**子どもと大学生1対1での学習支援をオンラインで実施**します。

①に参加していただき「オンラインの1対1でも大丈夫そうだ」と感じられましたら、次回からはサポーターの大学生と日程調整を行い、週1回のペースで個別の学習支援を行います。1回あたりの時間は30分～1時間の範囲で、ご家庭の希望に合わせます。日程などのご希望は①への参加後、ヒアリング用の登録フォームをお知らせいたします。

対象：小学4年生～中学生3年生（対象学年以外でもお困りの方はご相談ください）

参加費：無料

【お申込み後の流れ】

- ①事務局からご連絡＆参加回の調整 ※申込状況によってはご希望に添えない可能性もあります
- ②集合型学習会「オンラインまなびば」に参加
- ③個別学習支援「オンラインまなびば1on1」に申込

【プロジェクト実行団体】

サンサポートオカヤマ

NPO法人だっぴ

NPO法人岡山市子どもセンター

公益財団法人YMCAせとうち

ZOOMについて

本プロジェクトではオンライン会議ツール「zoom」を使用します。
zoomミーティングへの接続などは各ご家庭でお願いしております。

▼zoomオフィシャルサイト

<https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>

▼zoomのインストール方法

<https://zoom.nissho-ele.co.jp/blog/manual/zoom-install.html>

2. 様々な相談窓口ご紹介

現在準備中です。もうしばらくお待ちください。

おかやま親子応援プロジェクト

#心の手でつながろう #だれもひとりではない #育ちを止めるな！

親子応援メール

「おかやま親子応援メール」とは？

新型コロナウイルス感染症の影響により岡山市内在住の日常生活に困難を抱えるひとり親家庭など子どものいる家庭と支援団体をつなぐメールマガジンができました。

「おかやま親子応援メール」に登録すると、岡山市内で活動する子どもや親子支援を行う団体や岡山市社会福祉協議会、岡山市からのお役立ち情報がメール等で届きます。

主催：岡山市、岡山市社会福祉協議会、おかやま親子応援プロジェクト

↓画像をクリックするとPDFファイルが開きます。



おかやま親子応援メールへのご登録方法

① チラシに掲載しておりますコードを読み取っていただくか、申込フォーム<https://www.charity-santa.com/oyakoouenmail/>よりお申込みください。コードの読み込みやフォームからの入力が難しい方は、okayama.oyako@gmail.com宛てに「メール登録希望」と書いたメールをお送りください。（登録に必要な情報をお届けします）

②登録が完了すると、通知メールが届きます。

※登録完了メールが届かない場合、登録されていない場合があります。

※現在週1回程度の情報配信をしております。

登録メールが届かない場合や、長期に渡って情報が届かない場合は、不具合が生じている場合があります。

恐れ入りますがokayama.oyako@gmail.comまでご連絡ください。

バックナンバー

これまでに配信したメールのバックナンバーを以下に掲載いたします。

[バックナンバー](#)

※最新の情報とは限りませんのでご注意ください。

メール配信の解除方法

メールが不要になられた方、登録の解除をご希望の方は、お手数ですがokayama.oyako@gmail.comまで「配信解除」と明記の上、ご連絡をお願いします。

個人情報の取り扱いについて

ご登録いただきました個人情報は、おかやま親子応援プロジェクトの事務局団体である岡山NPOセンターの個人情報保護規程（プライバシー）に基づき、本メールマガジンの運用における個人情報の取扱いを行います。

<[プライバシーポリシー](#)>

支援者のみなさまへ

「おかやま親子応援メール」への情報掲載を希望される方は、[おかやま親子応援プロジェクトへの参加](#)をお願いいたします。

おかやま親子応援プロジェクト

#心の手でつながろう #だれもひとりではない #育ちを止めるな！

物資のご支援

必要とされている物を、必要な分だけ支援。

インターネットを通じて物資の寄付を募る仕組み(スマートサプライ)を通じ、インターネット上で市民のみなさまから物資の寄贈を募集しています。みなさまのご協力をお願いいたします。

※物資を受け取りたい方は[こちら](#)からご連絡ください。

*スマートサプライ(Smart-Supply)は、一般社団法人 Smart Supply Visionが運営しています。

▼ご支援はこちらから▼

<https://smart-supply.org/projects/c19-okayama>

▼現在物資を募集・お届けしているプロジェクト▼

妊婦さんに妊娠中でも安心できるマスクを届けたい
@ハレハハプロジェクト [\[詳細\]](#)

移住者と地元のパイプとして交流の場を作ってきた親子に必要な応援を
@おいでんせえ岡山 [\[詳細\]](#)

マスクを必要としている子育て親子に、支援団体を通じて政府配布の白マスクを届けたい！
@cococara okayama&くらしのたね [\[詳細\]](#)

【募集完了】子育て世代と地域を繋ぐ場を、より安心安全にするために。
@子育て広場まんなか [\[詳細\]](#)

おかやま親子応援プロジェクト

#心の手でつながろう #だれもひとりではない #育ちを止めるな！

お問い合わせ

● 岡山に暮らす親子やそのご家族、関係者のみなさまへ ●

新型コロナウイルス感染拡大により生じた「困りごと」や「お悩み」のご相談を受け付けています。気軽にお問い合わせください。

※ お寄せいただいたご相談に適切におこたえするために、ご相談内容について【個人情報が特定されない形で】プロジェクト参加団体間で共有し、福祉等の専門家へおつなぎする場合等がございます。

※北長瀬コミュニティフリッジ・公共冷蔵庫のご利用やご支援に関するお問い合わせは、プロジェクト参加団体の[一般社団法人北長瀬エリアマネジメント\(ハッシュタグ岡山\)](#)へお尋ねください。

メール：hashtag.kitanagase@gmail.com / 電話：086-236-7458

おかやま親子応援プロジェクト お問い合わせフォーム

おかやま親子応援プロジェクトへのお問合せ・ご相談フォームです。
お寄せいただいた内容は、よりよいご支援を実現するため、プロジェクト参加団体の間にて【個人情報が特定されない形で】共有させていただく場合がございます。予めご了承ください。

 okayama.oyako@gmail.com (共有なし)
[アカウントを切り替える](#)



*必須

お問合せの内容 *

- 支援を受けたい、支援情報を探している
- おかやま親子応援プロジェクトについて
- その他:

[次へ](#)

[フォームをクリア](#)

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

Google フォーム このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。



おかやま親子応援プロジェクト

#心の手でつながろう #だれもひとりではない #育ちを止めるな！

学生の方へ | 「子どもたちの学習支援」学生サポーター募集

<重要なお知らせ>

おかやま応援プロジェクトによるオンライン学習支援は、プロジェクト参画団体のひとつである「NPO法人ハレハハ」へ引き継いで実施しています。お問合せは「[NPO法人ハレハハ](https://harehaha.or.jp/)」までお願い致します。

<https://harehaha.or.jp/>

—以下、過去の情報を掲載しております。—

「子どもたちの学習支援」学生サポーター募集

現在、学校教育では、休校によるカリキュラムの遅れを取り戻す必要が出てきています。一方で、「その学習スピードに全ての子どもが追いついていけるだろうか」という不安もあります。学習塾などで学習の遅れが補完できればよいのですが、子ども全員が学習塾に通えるわけでもありません。

学習支援プロジェクト『オンラインまなびば』では、学校の学習スピードにはついていくのが難しい小中学生が「できた！」「分かった！」の体験を、その子のペースで実現することを目指します。

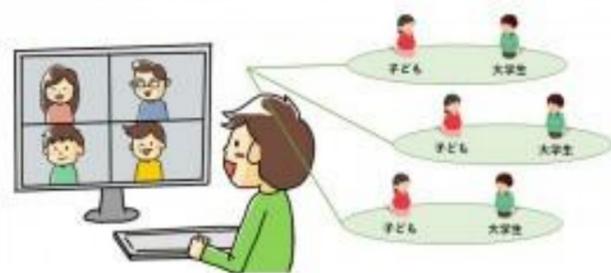
小学4年生から中学3年生までの学習支援をオンラインで実施。子どもたちの学習をサポートする学生を募集します。

プロジェクト内容

子どもたちの学びをサポートする役として、大学生が1対1で伴走します。

オンラインでの実施となるため、各自PCのご準備やzoomのインストールをお願いしております。

集合型学習会 「オンラインまなびば」



子どもと大学生全員がオンラインで集合後、1対1の個別ルームに分かれて、子どもと大学生で時間を過ごします。

①集合型学習会「オンラインまなびば」

子どもと大学生、お互いの関係性ができていないまま1対1というのも難しいので、まずは集合型の学習会に参加します。集合型学習会「オンラインまなびば」では、小中学生5～10人、大学生5～10人がオンラインで集まり、区切られた時間の枠の中で、1対1の時間を過ごします。

【学生サポーターの役割】

- 子どもの宿題のサポートなど（分からないところを教えるなど）
- 子どもとおしゃべり（友達でも親や先生でもない、ナナメの関係として関わる）

②個別学習支援「オンラインまなびば1ON1」

個別学習支援 「オンラインまなびば1on1」



週1回 30分～1時間

集合型学習会に参加後に日程調整等を行い、子どもと大学生1対1での学習支援をオンラインで実施します。

子どもたちは①への参加後、学生サポーターとの1on1の学習支援に切り替えていきます。各家庭と日程調整を行い、週1回のペースで個別の学習支援を行います。1回あたりの時間は30分～1時間の範囲で、ご家庭の希望に合わせます。

【学生サポーターの役割】

- 子どもの学習サポート（分からないところを教えるなど）
- 子どものやる気を引き出す（友達でも親や先生でもない、ナナメの関係として関わる）

アルバイト概要

■プロジェクト名

おかやま親子応援プロジェクト（契約先：岡山NPOセンター）

■勤務地

自宅など（オンライン環境が整っており、雑音が少ない場所が好ましい）

■給与

時給 1,000円

■求める人材

- 学生の方（大学生/短大生/専門学生/大学院生など）
- 小中学生の学びをサポートしたい方

■期間

2020年6月～2021年3月（予定）

■勤務時間・曜日

①集合型学習会「オンラインまなびば」

週1回程度の実施を予定。参加できる日程に参加してもらいます。詳しい日時は下記応募フォームをご参照ください。

②個別学習支援「オンラインまなびば1on1」

各家庭の都合に合わせて、週1回・30分～1時間で実施します。平日であれば夕方～夜の時間帯で実施することになると思います。

■その他

応募後、簡単な選考を実施する場合があります。

オンライン会議ツールについて

本プロジェクトではオンライン会議ツール「zoom」を使用します。

zoomミーティングへの接続などは各自でお願いしております。

▼zoom公式サイト

<https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>

▼zoomのインストール方法

<https://zoom.nissho-ele.co.jp/blog/manual/zoom-install.html>

オンライン環境のない学生の方がwi-fi利用可能なコワーキングスペースを無料提供しています。

おかやま親子応援プロジェクト

#心の手でつながろう #だれもひとりではない #育ちを止めるな！

クラウドファンディングご支援者様一覧

\クラウドファンディング 目標達成しました！/

[\[クラウドファンディングのページ\]](#)

2020年6月25日までクラウドファンディング「晴れフレ岡山 -Supported by READYFOR」上で実施いたしました「#だれもひとりではない | おかやま親子応援プロジェクト」を通じてご支援をいただき本当にありがとうございました。

目標金額 3,000,000円に対し、次にご紹介する皆様をはじめ、422人の皆様から3,752,000円のご支援をいただきました。

このご支援で、新型コロナウイルスの影響を受けている岡山に暮らす親子をだれひとり取り残さぬことを目指して支援の輪を広げて参ります。本当にありがとうございました。

おかやま親子応援プロジェクト

呼びかけ人一同

支援者様のご紹介

5,000円以上のご支援をいただき、氏名掲載許可をいただいた支援者様のお名前をご紹介します。

(順不同)

岡山 一郎 様

波勢 桂一 様

岩田 豪 様

河津 泉 様

窪田 昌子 様

Yuka Arikuni 様

多田 伸志 様

株式会社トヨタレンタリース岡山 様

杉本 宏 様

ツナマヨ 様

直原 真弓 様

中谷 文美 様

影山 貴敏 様

司法書士あかぎ法務事務所 様

奥村 菜摘 様

寺坂 幸治 様

ソノリテ江崎礼子 様

伊藤 彰 様

池本 修悟 様

中村 真教 様

磯打 千雅子 様

Yayomi dousen 様

山崎 智文 様

鈴木 富美子 様

福島 保 様

友延 栄一 様

蚊蜻蛉 様

えみっち 様

柴田 健志 様

沖村 舞子 様

小坂 英子 様

野尻 紀恵 様

横山 知幸 様

Kaede 様

牧野 有 様

のるーく 様

玉井 とし子 様

金藤 純子 様

秋田 智恵子 様

筒井 愛知 様

阿部 典子 様

白幡 めぐみ 様

山本 愛子 様

中山 遼 様

松原 裕樹 様

岡本 卓也 様

西村 洋己 様・正美 様

木戸 るみ子 様

高原 周一 様

Ruri Tsuji 様

土居 正明 様

CAPおかやま 様

岩満 賢次 様

のの 様

原田 一成 様

綾野 雄紀 様

久保 誠治 様

深尾 昌峰 様

こやま たかし 様

SHINGO HORIGUCHI 様

谷川 明義 様

大山 麻美 様

横関 つかさ 様

横山 由利亞 様

木林 京子 様

佐野 由美 様

梅谷 真慈 様

長尾 文雄 様

株式会社ビザビ 様

miyai 様

津久井 進 様

貝原 明宏 様

Hiramatu 様

大坂 圭子 様

竹本 幸史 様

杉原 禎章 様

山元 圭太 様

大山 知康 様

山辺 典生 様

加藤 隆弥 様

成田 美和子 様

園田 浩也 様

内海 けい 様

渡辺 清美 様

宮本 聡 様

保井 美樹 様

水柿 大地 様

石原達也バースデイドネーション 様

可児 卓馬 様

石田 篤史 様

kota 様

roku 様

特定非営利活動法人 チーム響き 様

臼井 幸 様

久山 英毅 様

梅田 純平 様

打谷 直樹 様

深瀬 みどり 様

しか 様

金城 宏樹 様

おおくぼ しげと 様

本行 彩花 様

山川 隆之 様

恒枝 直豆 様

平井 敏之 様

河本 歩美 様

田村 昌弘 様

利根 弥生（NPO法人タブララサ） 様

枝広 真祐子 様

学塾 誠和学舎 高山 和成 様

石田 りえ 様

柏原 様

永井 美佳 様

竹佐 古真希 様

馬場 拓郎 様

岡本 陽一 様

鹿村 あや 様

和泉 克軌 様

近藤 直子 様

波多 舞 様

はしぐち ふみひろ 様

川中 大輔 様

佐藤 好英 様

仲井間 健太 様

ごりょうその いくこ 様

池橋 陽子 様

momo子 様

山下 明美 様

久保 千晶 様

赤澤 貴士 様

西井 準 様

久永 彰 様

辻 資治 様

横田 都志子 様

いのりんジャパン 様

安藤 雅子 様

ヨコヤマ ユミエ 様

三浦 信彦 様

米良 重徳 様

高田 佳奈 様

finale: macoto creative.Co.,Ltd 様

株式会社トヨタレンタリース岡山 有志一同 様

松田 秀太郎 様

林 大輔 様

黒田 尚子 様

松崎 早百合 様

美咲 美佐子 様

上杉 徹 様

大野 勉 様

金城 奈々恵 様

市場 恵子 様

<応援企業の皆様>

小橋公認会計士総合事務所 様

株式会社Elever~エルヴェ~ エルヴェスペース 岡山駅前オフィス 様

コミュニティヘルス研究機構 様

株式会社えんのした 様

株式会社 マスカット薬局 様

司法書士あかぎ法務事務所 様

株式会社 三美産業 様

株式会社イマイ 様

一般社団法人 鍵盤ハーモニカ教育LABO 様

岡山トヨタ車体株式会社 様

リトミック&モンテッソーリ教室【オトノハ】 様

岡山トヨタ自動車株式会社 様

株式会社岡山トヨタシステムサービス 様

岡山トヨタロジテック株式会社 様

おかやま親子応援プロジェクト

#心の手でつながろう #だれもひとりではない #育ちを止めるな！

メディア掲載

準備中

おかやま親子応援プロジェクト

#心の手でつながろう #だれもひとりではない #育ちを止めるな！

宣言

新型コロナウイルスから 子どもたちの育つ機会と未来を守ろう！宣言 「育ちを止めるな！」

このFacebook投稿は利用できません。削除されたか、プライバシー設定が変更された可能性があります。

ヘルプセンター 

新型コロナウイルスは、大切な命や仕事を奪うだけでなく、学校を止め、旅を止め、体験を止め、交流を止め、子どもたちの今しかない、その年齢のときだけにある時間を奪っています。

「外で遊べない。」

「他愛もない話ができる場がないし、話をしても受け止めてくれるあの人に会えない…」

「学校でたくさん宿題をもらってくるけど、親も子も限界！」

「子どもは好きなことを沢山我慢している。けど、お互いのストレスで怒ることが増えてしまった。」

「アルバイトに入れなくなり、生活にすごく困っている。」

大人も子どもも普段からの素朴な繋がりが分断され、私たちを取り巻く環境は大きく変化しました。

リアルな体験活動は、子どもの健やかな成長のためには欠かせません。教室で友達と授業を受ける時間も、アルバイトをして大学に通う時間もかけがえのないものです。子どもたちの1日、1か月はただ過ぎる時間ではなく、その先の人生に大きな影響を与える大切な機会です。

また、自粛で家庭が、親だけが子どものことを抱え、苦しむこと、これも大きな問題です。「地域で子どもを育む」ことを取り戻さなくてはなりません。今、「子どもたちにとって本当に何が必要なのか」という根源的な問いが私たちに突きつけられています。

私たちは、すべての子どもがもつ「育つ力」をコロナ禍で止めることの無いように、活動の仕方、支援の在り方について、電話やオンラインで話し合ってきました。

その中で、オンラインでの活動なども、「新しいことを生み出せるかもしれない」という可能性も見えてきました。一方で、リアルな場や機会の大切さも再実感しています。

だからこそ、多くの団体と、そして子どもたちと共に、「新たな活動」をつくっていきたくと強く願っています。

感染防止の取り組みはしっかりと行いながら、しかし、機会をこれ以上減らさない。子どもたちの育ちをとめないために、子どもたちの機会を守るために、あらたな活動の実行と、そして、みんなで感染防止に配慮した平時の活動の再開を、ここにあらためて宣言します。

おかやま親子応援プロジェクト 参加団体、賛同者一同

岡山市子どもセンター

Ymcaせとうち

サンサポートオカヤマ

ハレハハ

Npo法人だっぴ

チャリティーサンタ(Charity Santa)

おいでんせえ岡山

一般社団法人医食ラボ

岡山・子育て・体験活動グループ『hug+kumu～はぐくむ～』

特定非営利活動法人 岡山NPOセンター

personal care nappa

一般社団法人すこやかかわ

特定非営利活動法人よりはぐプロジェクト

NPO法人 みんなの劇場おかやま

NPO法人 井戸端わもん

茶屋町母と子のサロン

空山ぼくじょうようちえん ぱっか

カラフルキッズの会にじのね

cococara okayama

ままライン

おかえり庵

美咲 美佐子

道仙 八代己

久川 春菜

太田 直宏

河津 泉

ボウズ 満恵

森分 志学

石原 達也

西村 こころ

柴田 健志

秋田 智恵子

高畠 佐栄子

逢澤 直子

中山（萬木）奈央

澁谷 奈津美

シャノン 香織

木林 京子

柚木 幸子

平尾 博美

太田 顕子

深瀬 みどり

桑島 章子

井上 晃宏

和田 亜衣子

石井 優子

藤田 早苗

中島 紋子

石原 陽子

たなか ともこ

嶋藤 さゆり

奥村 菜摘

煤溪 奈美

松本晴恵

活動報告書

■団体名

cococara okayama

■支援金配分情報

期	支援金使途	金額
1	-	- 円
2	「県外出身者が安心してつながれる交流会」開催に必要な非接触型体温計	2,000 円

■活動報告

「県外出身者が安心してつながれる交流会」開催に必要な非接触型体温計を購入をしました。対面のイベントにおいてアルコール消毒や換気とともに受付で検温をする対策を取り、参加者の方には安心してご参加いただきました。

cococara okayama では、人と人が顔を合わせて繋がれる企画をしています。

その一つ、『岡山初心者』は、岡山へ転入してきた初心者さんを中心に、昔初心者だった方、初心者と繋がりたい地元の方など広く募集し、岡山情報の交換や、転入者ならではの疑問点・不安などを少人数で楽しく語り合う交流会です。子ども連れで出かけられる場所やおすすめカフェで盛り上がり、電車の乗り方や方言など、転入者ならではの話で共感し合いました。

このコロナ禍に越してきてから、会話する相手が旦那さんしかいなかった方や、職場との往復しかできなかった方など、普段にもまして人と繋がるのが難しい状況が続いていましたが、同じ不安を共有できました。この活動がこんなにも誰かの力になれるのだということを実感し、コロナの制約の中においてもこれからもずっと継続していかなければ！と、スタッフ一同気持ちを新たにしています。

他にも、岡山で自分らしく暮らす人の生活とこだわりを聞く『STEP』をはじめ、情報シェア会やランチ会を定期的に開催しました。

雑談が少なくなっているこの時期に、誰かと会って話せるということが心の余裕を生み、また明日から頑張れるという活力につながる活動となりました。

- ・目的: コロナ対策での検温実施のため
- ・対象者: 岡山に来たばかりで人とつながれない岡山初心者・岡山で自分らしく生活したい人など
- ・参加人数: 体温計を購入後のイベント参加者 トータル24名
- ・対面で実施したイベント回数: 7回
- ・参加者の声:
 - コロナで外出も不安だったが事前に大作がブログなどに記載されていて安心して参加できた。
 - 対面でのおしゃべりはとても楽しく、家に引きこもってばかりして家族以外の大人と話せる時間を作ることができて、参加してよかった。

【寄付者のみなさんへのメッセージ】

ご寄付を頂きありがとうございました。コロナ渦の中でも安心してイベントを開催することができました。これからも岡山で、お互いが助け合えるつながりを作っていけるように活動をしていきます。

●活動風景



活動報告書

■団体名

CAP おかやま

■支援金配分情報

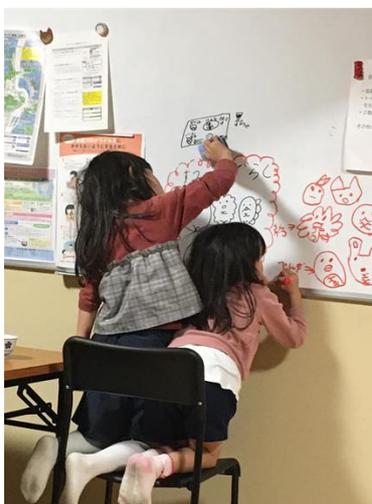
期	支援金使途	金額
1	—	— 円
2	助産師によるオンライン相談対応・オンライン講座の開催と、三密を避けてのサロンやカフェ開催に必要な衛生用品	191,806 円

■活動報告

「博士の家みんな食堂」「ほっとカフェ」「おしゃべりサロン」「和みのヨーガ」「こころといのちの勉強会」等の実施。会場での集まりはなかなか厳しく、オンラインでの開催に切り替えることで、多くの方に繋がることができました。開催はのべ 108 日、1060 名の方にご参加いただきました。

支援を必要とされている方は思っていた以上に多いこと、食堂代(おとな 300 円・小学生 100 円)を払うことさえ躊躇するほど家計が逼迫している家庭が少なくないこと、物資を手渡することで「よかった〜」「助かります」とほっと一息つかれ、弱音を吐くひとときともなること、つまり、普段の生活で生きづらさや苦しさを語るができる相手が身近にいない状態を少しでも変える瞬間を提供できました。

参加されることで、孤立感を抱えた人が「自分は一人ではない」と思え、新しい気付きを経て心が軽くなり前向きになれたという感想をいただいています。共に語り合う場であるカフェ、わが子の発達に悩む親が専門家に気軽に相談できる場である子育てサロン、自分で自分の心身を整え心穏やかな状態に戻ることのできるヨーガ、新たな見識や価値観に触れる本読み会のどれもが、孤立を防ぎ、楽しんで子育てをする上で重要な役割を担っていることを再確認する時間となりました。



【寄付者のみなさんへのメッセージ】

たくさんの皆さんの温かいお心を頂戴して、場の安心を守る衛生用品を購入したり、専門家をお呼びして、安心感をお届けしたりすることができました。ありがとうございました。まだまだ、厳しい日々が続きます。身を守りながら、子育て中の方への暖かなまなざしやお心遣いをいただけましたら、幸いです。これからも、共に、子どもを！子どもを育てている家族を！暖かく支えていきましょう！お支えをいただき、本当にありがとうございました。

活動報告書

■団体名

おかやまメディアサポート

■支援金配分情報

期	支援金使途	金額
1	—	— 円
2	おかやま親子応援プロジェクトにおけるオンライントークライブの配信	200,000 円

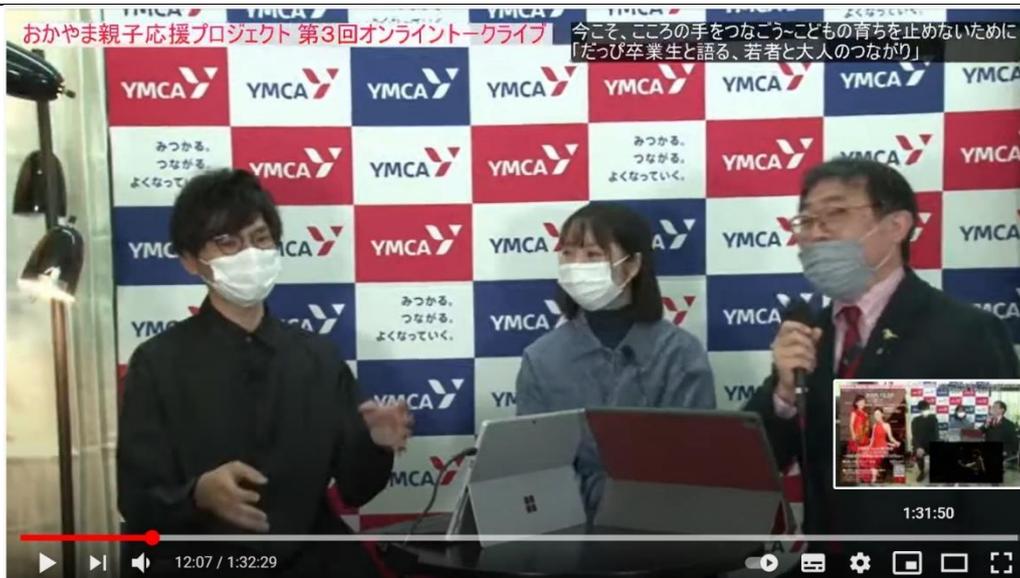
■活動報告

おかやま親子応援プロジェクトにおけるオンライントークライブ実施

- ・実施時期 : 2020 年度内月1回ペース
- ・対象者 : 各団体の会員・広く市民一般
- ・参加人数 : 実施回数 4 回 再生回数合計 921 回
- ・課題ニーズ: コロナ感染拡大状況の中、各団体が考えるニューノーマルを提示し、共に歩む契機とします
配信等の技術ノウハウを、関係団体にサポートして、コロナ禍を IT の力を使って乗り切るニュースタンドを提案します。
- ・目的内容 : ZOOM ならびに YOUTUBE によるオンライン配信
- ・感想 :
岡山で様々な地域支援等を実践されている団体様のオンラインでの発信をサポートいたしました。
NPO 法人 岡山こどもセンター、NPO 法人 チャリティーサンタ、NPO 法人 だっぴ等の配信トークライブを YOUTUBE や ZOOM を使い配信しました。各団体の配信は、今の現状や状況をオンラインで発信する事にとっても意義を感じました。OMS は、プロ品質の配信技術を主には音楽やフォーラム、演劇、芸術等様々な分野で配信にてコロナ禍をサポートしています。今回は親子応援プロジェクトでのオンライントークライブ、コロナ禍でも安心して、ご自宅で視聴頂けるオンライン番組の制作をさせて頂きました。

これまで、リアルに開催を行うことが出来ましたが、コロナの影響で、様々な活動がオンラインへシフトしました。今回のオンライントークライブをきっかけとして、団体自身によるオンラインでの情報発信のノウハウや繋がりが増えるきっかけになりました。これは、子育てをする親や、外出する事が難しい人でも、スマホやパソコンから、地域の子育てにとって必要な情報を入手することができます。また、インターネットの特性上、必要な情報をワンクリックでシェアすることによって、拡散され必要な情報が必要な人に届きます。

IT に特化した団体が少ない中で、地域の ICT 活性化を担う一役になれたらと思っています。
参加者の声としては、YouTube や ZOOM 内でコメントが多く寄せられ、「とても参考になった」や「取り組みについて理解できた」など、コメントを通してコミュニケーションを取れたのも良かった。



おやかま親子応援プロジェクト 第3回オンライントークライブ 今こそ、こころの手をつなごう~こどもの育ちを止めないために「だっぴ卒業生と語る、若者と大人のつながり」



おやかま親子応援プロジェクト オンライントークライブ



おやかま親子応援プロジェクト 第2回オンライントークライブ 今こそ、こころの手をつなごう~こどもの育ちを止めないために「サンタクロースって、いるのですか?」

【寄付者のみなさんへのメッセージ】

OMS はこれからも地域の方の為に、様々な関係企業や、NPO 団体と連携して、情報ネットワークの構築や、発信のサポートができたと思います。今回このような機会を頂き、今回の活動がきっかけで、このプロジェクト以外の部分でも各団体と連携ができるようになりました。各団体の持っている強みをお届けする役目として、今後も尽力していきます。

活動報告書

■団体名

岡山移住交流の会カモミール

■支援金配分情報

期	支援金使途	金額
1	移住者と地域の方とが繋がり楽しく過ごせるような交流会を開催するために必要な衛生用品や、そこで子どもたちが遊ぶために必要な遊び道具等	40,000 円
2	-	- 円

■活動報告

- ・実施時期 2020年5月～2021年2月
- ・参加人数 14名
- ・対象者 コロナ禍での保護者支援にて、お子様預かりを希望される方

<支援金を活用して取り組んだこと(実施内容)>

「休日に出勤しなければならないけれども預け先がない」とのことでお困りの、医療関係にお勤めのシングルマザーの方からのお声をお聞きしたことがきっかけで託児ボランティアの活動を行いました。朝から夜まで長時間のお預かりとなりましたが、お子さんが一日楽しく過ごせるよう様々な遊び道具をご用意しました。また宿題を一緒にするなどの学習支援も行いました。

他にも「移住や転勤者の方の繋がり作りの機会が減ってしまい孤独感を感じている」とのお声をお聞きしたことがきっかけで、オンラインでの交流会も行いました。

<実現できたこと(成果)>

移住者や転勤族の方は身内が近くに居ないため、孤独な子育てに陥りやすい傾向にあります。送り迎えの際のスタッフとの会話の中で「不安な思いを口にすることができたりして心も軽くなった」とのお声もありました。託児活動を行うことは、子育ての負担を軽減することができるだけでなく、親御さんの孤独感を和らげる効果もあることを感じました。

<参加者様からの感想>

土日仕事が入り、身内も近くにおらず、また感染も心配な中で仕事の子供の居場所に困っていたのですが、カモミールの託児活動のおかげで、少人数の感染予防にも配慮した環境で子供をみてもらうことができとても助かりました。支援員の方々も温かく接していただいて、子供は大変喜んでいました。ありがとうございました。また機会がありましたら宜しくお願いします。

.....

子どもを2人預けさせて頂きました。

私は、現在シングルマザーの駆け出しで、まだ日々のやりくりの方法を手探りしている状態です。そんな中、新型コロナ対応にはかなり四苦八苦しました。家事、ご飯やお弁当作り、子どもが飽きないようにする活動、勉強サポート、さらには仕事。息つく暇無く、頭も身体も悲鳴を上げて、下手をしたら子どもに矛先が向きそうな時に、カモミールさんのメールを見て、藁にもすがる思いで申し込みをしました。

初めてお会いした時、優しい笑顔で迎えてくださり、それまで張り詰めていたものが一気に解けて、もう大丈夫だ、と思えました。

預けさせて頂いた時間、子どもは本当に楽しく過ごせたようでしたし、私自身も久しぶりに外気を吸えた気持ちで、心身共にリフレッシュすることが出来ました。

友人仲間とは楽しくお話は出来ても、私自身完全にフリーな時間というのはなかなか確保し難いです。本当に、今回預けさせて頂いて、助かりました。母子家庭にとっても、ワンオペ育児をされてる方々にとっても、かなり良いサポートだと感じます。

本当に、ありがとうございました。

【寄付者のみなさんへのメッセージ】

支援金のお陰で遊び道具や消毒液等の衛生用品を揃えることができ、安心して活動に取り組むことができました。

市民団体であり、活動においてボランティアでの活動がメインとなり資金の調達も難しく、継続が課題となっています。このような支援金はとてもありがたく、今年度も皆様の声に傾け、必要となる活動を続けて行きたいと思います。ありがとうございました。

●活動の様子



活動報告書

■団体名

子育て広場まんなか

■支援金配分情報

期	支援金使途	金額
1	—	— 円
2	外遊びを開催するために必要な衛生用品や、そこで子どもたちが遊ぶために必要な遊び道具	50,000 円

■活動報告

・開催時期:2020年6月~

・対象者:地域の親子

・参加人数:5 組の親子

・解決に取り組んだ課題:

昨年の緊急事態宣言により、在宅ワークが増えたことで、「自宅前で遊んでいたことを通報された」「子どもの声がうるさいとアパートに苦情が入った」などの事実があり、子どもをのびのびと遊ばせる環境が減ったことによる、保護者の不安や親子ともにストレスの増加、それに伴う家庭環境の悪化が考えられました。

・ニーズ :

・コロナ禍でありながらも、子どもがのびのびと遊ぶことが出来る環境が欲しい。

・保護者自身が安心して過ごせる場、不安を共感したり、解消出来る場が欲しい。

・活動内容、参加者の反応:

6 月の 1 ヶ月間、地域の公園にて子育て広場を開催し、アルコール消毒、マスクの着用、体調確認等、感染対策をしながら外遊びを実施しました。子供たちは遊具や砂遊びで楽しみ、保護者は子供を見守りながら、近況や、抱える不安、想いなどを共有、共感する場となりました。

参加保護者からは、「家では十分に遊ばせてあげられない」「何をして遊ばせたらいいのか」という声が上がリ、遊び場に困る親子との関わりを通して、新型コロナウイルスの終息が見えない世情であるが、直接人とつながれる場所、親も子ども安心して遊べる場所の存在は、子育てをするなかで必要不可欠なものだと感じました。

今後も感染症対策を行いながら、支援金で購入したタープ、プレイマットなどを活用し、外での活動を継続していきます。



【寄付者のみなさんへのメッセージ】

この度は寄付を頂きありがとうございました。コロナ禍において誰もが大変な中、ご支援いただいた事本当に感謝しています。これからも、出張子育て広場として発展させ、多くの子どもたちに安心した子育て支援を続けていきます。

活動報告書

■団体名

NPO 法人あかね

■支援金配分情報

期	支援金使途	金額
1	困窮世帯でネット環境が整っていない家庭へのオンライン学習支援で活用するレンタル用タブレット(3台)	135,000 円
2	困窮世帯でネット環境が整っていない家庭へのオンライン学習支援で活用するレンタル用タブレットの周辺機器	114,000 円

■活動報告

取り組んだこと(実施内容)

当団体では、自主事業としての学習支援として不登校や発達障害などの学びにくさの有る子ども達に向けて、タブレットやICT教材及びオンライン会議システムを用いて、その子の習熟度や特性にパーソナライズした形での学習支援や、岡山市からの委託事業としての岡山市こどもの学習サポート事業という、生活困窮世帯のこどもたちへ上記の自主事業と同様の事業を無料で提供するという事業を行っている。その中で特に経済的に困窮している世帯に関しては家庭にタブレットをレンタルすることで、オンラインで学習支援を行っている。特にこのタブレットレンタルはニーズが大きく、タブレット台数が枯渇しレンタルを希望をしている家庭にタブレットを貸し出せない状況が発生していた。今回の支援金を活用させていただきレンタル用のタブレットの購入を行った。

実現できたこと(成果)

購入したタブレットは全てすでに対象家庭に貸し出されている。対象世帯のなかには生活保護世帯や基礎疾患を持っておりコロナの感染リスクの高さから学校を自主休校していることで学習が著しく遅れてしまっている家庭などである、レンタルを行っている家庭では家庭学習で使ってもらうとともに、週に一度家庭訪問もしくはオンライン会議システムを使っているオンラインでの学習支援を行うことができた。



【寄付者のみなさんへのメッセージ】

寄付者の皆様、この度は当団体の活動に支援金を頂き、誠にありがとうございました。皆様からの支援金のおかげで、不登校や発達障害などの習熟度や特性にでこぼこがある子たちや、生活困窮世帯の子たちへレンタルを行い、家庭学習のための教材としてやコロナ禍でのオンライン学習支援のためのインフラとして機能しております。中には家族以外との関係がほとんどない引きこもりがちなこどもも数多くあります。そんな家庭にとっては今回レンタルすることができたタブレットが唯一社会と繋がるツールとなっているケースもあります。このタブレットを通じてこどもたちの思いや希望をつなげていきたいと考えております。

活動報告書

■団体名

NPO 法人みんなの劇場・おかやま

■支援金配分情報

期	支援金使途	金額
1	-	- 円
2	発達障がいの子どもの育児にかかわっている保護者や関係者を対象とした、オンライン基礎講座実施	55,000 円

■活動報告

コロナ禍でマスクの着用を義務付けられたり、自由に外で遊べなくなったりと、発達障害の子どもたちには、窮屈な状況が続いています。そのケアにあたる保護者の悩みも多いです。そのうえ、コロナ禍では、子育て広場を開催しても、以前のようにお茶をしながら語り合うこともできなくなってしまいました。その状況を改善するため、オンライン子育て広場の開催を試みてみよう、導入部分で使うカンガルーポ어의紹介と発達障害を持つ子どもたちの特徴的な行動を解説する動画を作成しました。

動画作成

日時:2021年4月18日 10:00-17:00

場所:OMC(おかやまメディアサポート/ハレピカスタジオ)

エンジニア:金田正弘氏

カンガルーポー代表 深瀬みどり

全編 約21分

*オープニング

*発達障がい基本の「き」

①子どものタイプ ②感覚のちがい ③365日の家庭療育 ④親として人として

映像録画が4月末ごろ出来上がり、5月14日のカンガルーポー子育て広場で活用しようと思っていたところ、緊急事態宣言が施行段階に入り、会場が閉鎖になったため実施にはまだ至っておりません。必要な方にお届けできるよう、感染拡大が広がる中、次のアプローチを考えています。



【寄付者のみなさんへのメッセージ】

ご寄付を使わせていただいて、オンラインの子育て広場という新しい挑戦の機会をいただきました。コロナ禍で子育てに行き詰っている保護者を支援し、それを通して、子どもたちのストレスも軽減でき、困難な状況を乗り切ることができるよう活動を続けてまいります。どうも、ありがとうございました。

活動報告書

■団体名

NPO 法人志塾フリースクール岡山

■支援金配分情報

期	支援金使途	金額
1	コロナ禍でフリースクールへ来れない家庭へのアウトリーチ(訪問対応)	18,040 円
2	-	- 円

■活動報告

令和 2 年 4 月 1 日～7 月末実績

※支援員 2 名体制・支援時間 90 分～120 分(スクール終了後・17 時以降)

今回のこの期間での対象者は、以下の通りです。

- ① 小学 4 年生(双子男女)岡山市中区※バス浜本町 対象期間4・5・6・7月
- ② 中学 3 年生(男子)岡山市北区※電車備前一宮駅 対象期間4・5月
- ③ 高校2年生(女子)倉敷市※電車倉敷駅 対象期間 4 月・5 月
- ④ 高校1年生(女子)岡山市南区※電車迫川駅 対象期間 4 月・5 月

各支援の日程は次の通り。

- ① 毎週火曜日(予定) 結果:4 月 14・21・28 日 5 月 12・19・26 日 6 月 2・16・23・30 日
7 月 7・14・21・28 日 合計 14 回 ※現状継続。
- ② 不定期(月または金)結果:4 月 13・27 日 5 月 8・18・29 日 合計 5 回
※6 月より復帰。
- ③ 不定期(水曜日以外)結果:4 月 17 日 5 月 22 日 合計 2 回
※定着支援・現状通信制高校継続
- ④ 不定期(随時可能) 結果:4 月 24 日 5 月 21 日 合計 2 回
※定着支援・現状通信制高校継続

上記交通費については次の通り。

- ① 天満屋バスステーション～浜本町 往復 280 円×2 名=560 円 560 円×14 回=7840 円
 - ② 岡山駅～備前一宮駅 往復 420 円×2 名=840 円 840 円×5 回=4200 円
 - ③ 岡山駅～倉敷駅 往復 660 円×2 名=1320 円 1320 円×2 回=2640 円
 - ④ 岡山駅～迫川駅 往復 840 円 2 名=1680 円 1680 円×2 回=3360 円
- 以上①～④までの合計金額→18,040 円

以上。

以下は、利用者・家族・本人の感想です。

「スタッフの方々が、自宅まで訪問してくれて、良い関係をきづいていただいていたので、夏休み明けからは、中山下のスクールの方へスムーズに、行くことができました。」

「高校がスタートして続けて登校できるか心配でしたが、定期的に村本さん達が来てくれて本人も、いろいろ助かったと思います。また困ったら、お願いしたいと考えています。」

「学校いけなくなったら、家いつでも来るから。と言ってくれたことが嬉しかった。」

以上。

※写真はアウトリーチ(訪問支援)での支援の様子を添付しました。



【寄付者のみなさんへのメッセージ】

今回は寄付をありがとうございました。
不登校状態の児童・生徒のアウトリーチ(訪問支援)については、理解等がまだまだで、寄付・助成金等が
つきづらい感があります。(スタッフの person 費・経費などなど)。
そんな中でも、今回は交通費に寄付金を利用させていただき、本当に助かりました。
志塾フリースクール岡山訪問支援スタッフ・支援対象者家族から、感謝の気持ちを伝えたいと感じます。
改めまして、今回は貴重な寄付をありがとうございました。大変、感謝です。

活動報告書

■団体名

NPO 法人東備子ども NPO センター

■支援金配分情報

期	支援金使途	金額
1	無料個別相談の拡充および個別学習支援の実施	219,000 円
2	—	— 円

■活動報告

○相談対応

●実施時期: 通年 ●対象: 保護者 ●相談件数: 延べ 125 件

●概要: メール、電話、対面(予約制)による相談対応。

●内容・効果:

子育て、子どもの発達、不登校、学習、生活、就園など、幅広い相談に対応しました。

移動や外出の制限、つながり・学びの場の休止で、孤立した子育て世帯のフォロー(情報支援や具体的なアドバイス)をすることができました。

県内の団体や行政とも連携し、必要な支援を確実に、スムーズに受けられるようサポートすることができました。

コロナ禍で支援がしにくくなった自治体などからの相談も増えました。

○学習サポート

●実施時期: 2020 年 8 月～2021 年 3 月 ●活動場所: 団体事務所

●対象: 小学生 ●参加者: 延べ 87 名 ●協力者: 支え合い会員、大学生、

●概要: 放課後の簡単な学習サポートなど。

●内容・効果:

放課後時間を利用し、感染症対策をとりながら、子どもの学びのサポートをした。

利用する子どもの居場所になっており、様々なことが制限される中での楽しみや安心感に繋がっている。

異年齢が関わりあい配慮し合うことは、学習面だけにとどまらない学びとなっている。

○支え合い親子支援

●実施時期: 2020 年 8 月～2021 年 3 月 ●活動場所: 個人(利用者)宅

●対象: 小学生、小学生以下の子がいる家庭

●利用: 述べ 12 時間(数件はより利用料金の低いファミリーサポートで対応)

●概要: (生活支援)家事サポート、産前産後サポート、外出サポート

(学習支援)子どもの学習のサポート、遊び相手

●内容・効果:

内容に応じてファミリーサポートでも対応し、できるだけ負担が小さくなるようにした。

掃除や整頓など、生活面でのサポートをすることにより子どもの生活環境を整えることができた。

新型コロナの影響で、県外家族からサポートが得られなくなった家庭からの相談が多かったが、身近に頼れる場・人ができたことで、出産や子育ての安心感につなげることができた。

【寄付者のみなさんへのメッセージ】

皆さんの寄付により、相談対応から直接の支援まで行うことができる支え合いのシステムを拡充できました。また、子育て家庭が利用しやすいよう、利用料金の一部補助もできました。

相談したり、いざという時に頼ったりできる人が地域にできるということは、毎日の大きな安心感につながります。ご協力、本当にありがとうございました！

活動報告書

■団体名

一般社団法人医と食でつながる瀬戸大橋 LINE laboratory

■支援金配分情報

期	支援金使途	金額
1	織細さん、敏感さんへの環境とカラダに優しい洗剤、除菌などの配布	100,000 円
2	織細さん、敏感さんへの環境とカラダに優しい洗剤、除菌など・岡山県内の農薬不使用・無施肥の新米の配布	121,330 円

■活動報告

◎解決に取り組んだ課題：

コロナ渦中での支援の重要性を痛感しております。

妊婦さんや新生児を抱えたお母さんのためのケアは、コロナ渦中で母親学級のないお母さんには不安の解消の必要性があります。

また、賃金減少が原因で、ご家庭の不安が増大していることは事実です。

◎ニーズ・目的：

生きていくために不可欠な「衣・食・住」の日常生活の基盤を軸に、自然治癒力自己免疫力など、理解認知のために、未熟ながら活動を行っております。

そして、未曾有の西日本豪雨災害による被災地支援で サポートをする中での昨年のコロナウイルスによる渦が、健康のみならず経済的な被害がある中で、私たちの活動をより高めていき、情報を提供する機会と場所に出向いたり創出して役立てることを考えました。

1期

織細さん、敏感さんへの環境とカラダに優しい洗剤、除菌などの配布

◎実施時期：令和2年7月～10月

◎対象者：おいでんせえカフェに来られる親子、妊婦さん対象。織細さん、敏感さん。

◎参加人数：30世帯の対象の敏感さん織細さん親子に、石油系を使用していない洗剤、除菌スプレーの配布。

◎内容：石油系を使用していない洗剤、除菌スプレーの配布。

◎参加者の声：

- ・3歳の子供がアトピーで体質でお風呂が大変でしたが、とても楽です。
- ・子供が5人いますが子供がお手伝いしてくれるので安心して使用できます。
- ・生後3ヶ月の赤ちゃんの沐浴に使用しましたが、皮膚の荒れもなく安心です。

2期

織細さん、敏感さんへの環境とカラダに優しい洗剤、除菌など・岡山県内の農薬不使用・無施肥の新米の配布

◎実施時期：12月～3月

◎対象者：おいでんせえカフェに来られる親子、妊婦さん対象。織細さん、敏感さん。

◎参加人数：30世帯の対象の敏感さん織細さん親子

◎内容：石油系不使用の環境とカラダに優しい洗剤、除菌スプレーなど・岡山県内の農薬不使用・無施肥の新米の配布

◎参加者の声：

- ・1歳の子供がアレルギーでお風呂が大変でしたので助かりました。
- ・生後1ヶ月の赤ちゃんの沐浴に使用しました、皮膚の荒れもなく安心です。
- ・子供がマスクができないので、除菌スプレーが助かります。
- ・アレルギーっこのので農薬不使用のお米は大変ありがたいです。
- ・授乳中での食について不安がありました。安心安全なお米ありがとうございました。



【寄付者のみなさんへのメッセージ】

コロナ対策用の洗剤など、繊細な妊婦さんや、親子さん、マスクのできない子供さんことでもありがたがられております。コロナ渦中で妊婦さんや新生児を抱えたお母さんのためのケアは、不安は免疫力も下げるので必要性があります。

また、賃金減少が原因で、ご家庭の不安が増大していることで、少しでも安心していただくことができました。

心より感謝を申し上げます。

ありがとうございました。

活動報告書

■団体名

一般社団法人北長瀬エリアマネジメント

■支援金配分情報

期	支援金使途	金額
1	-	- 円
2	コミュニティフリッジ開設のために必要な衛生用品や備品及び岡山県内の高校生～大学生と一緒に作る「アオハル文化祭」開催	100,000 円

■活動報告

第2期

・北長瀬コミュニティフリッジ

利用する方のご都合に合わせて24時間いつでも食料品や日用品を無償で受け取り可能な「北長瀬コミュニティフリッジ」を2020年11月20日より運営開始しました。

冷蔵庫、冷凍庫を完備していますので提供できる食品のラインナップ利用できる対象者は、児童扶養手当、就学援助、生活保護を受給されている世帯になっており、食品、日用品の提供をしてくださる寄付者様の支えで成り立っています。2020年3月31日時点で提供希望者数344名、個人寄付者457名、企業・団体登録者数22件となっております。利用する方も寄付して下さる方も予想を上回る数となり、1日の利用する稼働も30組～40組とそれだけ困っている方がいる現実を知りました。新型コロナウイルスの感染対策として清掃業務は心がけ、アルコールの設置や冷蔵庫、冷凍庫のドアノブ等のアルコール清掃も定期的に行いました。

また、商品提供だけではなく、技術での寄付企画として、卒業や入学シーズンを迎える子どもを対象に無料で散髪するチャリティーカットを実施したり、HASHTAG 岡山のキッチンを使って毎月誕生日会を企画したりと、北長瀬コミュニティフリッジを利用する方には様々な出会いを提供できたらと思います今後も継続して運営をしていきます。

・アオハル文化祭

新型コロナウイルスの影響で高校生、大学生の文化祭が相次いで中止・延期になっている一方で、貴重な学生期間の青春を取り戻そうと「アオハル文化祭」を企画しました。

高校生・大学生で開く飲食店企画、音楽ライブやダンスショーができるテージ企画、記録に残るフォトスポットの企画を実行委員会を立ち上げ進めました。

コロナ対策としては、飲食店での利用の際にはチケット制度を導入し、お金のやりとりを減らすことやマスクを着用していない方向けにマスクを無料配布してマスク着用必須のイベント環境をつくろうと考えていました。

ただ、実行委員会の学校で新型コロナ感染者がでてしまい苦渋の決断で延期することになりました。

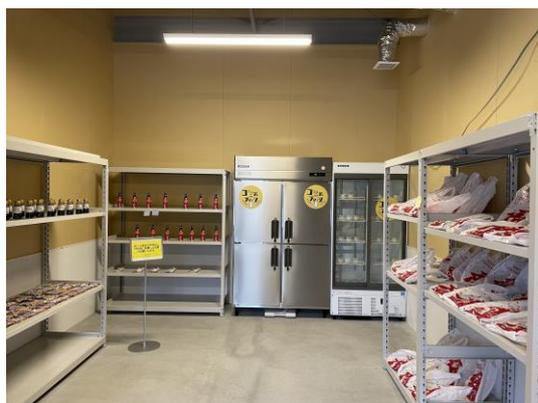
現在、2021年8月に開催予定で企画を進めています。

【寄付者のみなさんへのメッセージ】

この度は、貴重な寄付を当法人にも使わせていただきありがとうございました。

まだまだ、課題は多くありますが、取り組んでいる活動を継続して運営をしていきたいと思っております。

コミュニティフリッジの様子



たくさんの寄付をしていただきました

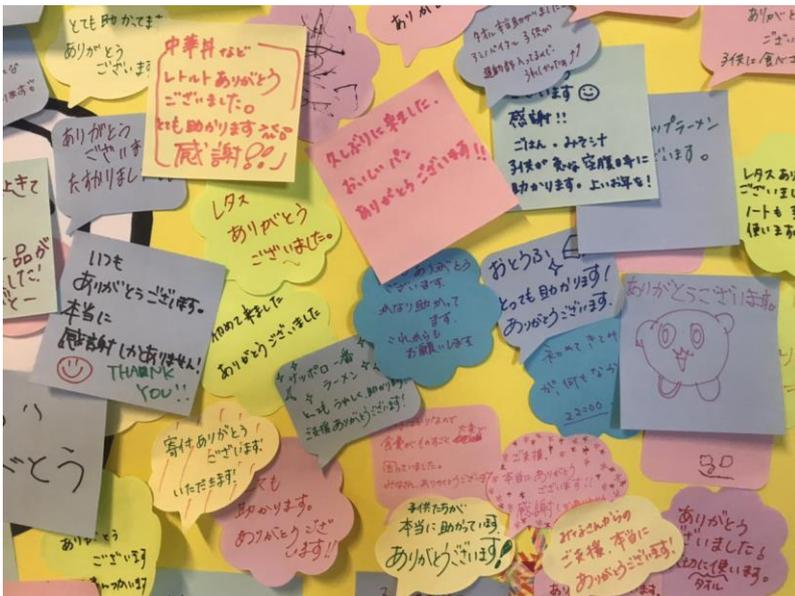


コミュニケーションボード



コミュニケーションボード

アルコール設置



大学生ボランティアによる誕生日会

農家さんからレタスのご提供



アオハル文化祭立ち上げ



イベントチラシ

コロナに負けずに青春しよう!

アオハル文化祭

11月23日月祝 11時 ▶ 19時

岡山の高校生・大学生が学校を超えた文化祭を開催します!

雨天決行

学生もスタッフも販売しましょ!!

飲食・物販ブース ステージライブ

チケット制について

1 昼食に飲食ブース、物販ブースで使用するだけのチケットをご購入いただきます

2 チケットを使用して飲食ブース、物販ブースのお食事・お買物をお楽しみください

場所 **BRANCH 岡山北長瀬**
岡山市北区北長瀬表町 2-17-80

主催 **アオハル文化祭実行委員会**

協力 **(一社) 北長瀬エリアマネジメント**

TEL **アオハル文化祭実行委員会委員長：藤原 080-2941-0729**

アオハル文化祭の公式Instagramはコチラ

QRコード

コロナウイルス感染症拡大防止にご協力ください
マスクの着用をお願いします。アルコール消毒にご協力ください。体調が悪い方は参加をご遠慮ください。

当日MAP

からあげや焼きそばなどの飲食店や、フリマやワークショップまで学生オリジナルの屋台が並びます

駐車料金のご案内

立花橋駐車場

- 入場券 2日間無料
- 最大料金 700円
- 入場券 2日間無料
- 最大料金 なし

平岡橋駐車場

- 入場券 1日間無料
- 最大料金 なし

減价料金 総額 200円/1時間

無料サービスエリア(1階) 2階階上にはトイレがあります。(アオハル文化祭実行委員会) 無料サービスエリア(2階) 2階階上にはトイレがあります。(アオハル文化祭実行委員会)

STAGE LIVE

ダンス、吹奏楽など様々な学校から集まった出演者たちによる「フォーアンス」を行います。学生の全力の「フォーアンス」をぜひ観てください!

TIME TABLE

タイムテーブル

11:10	開会の挨拶	15:00	いづき
30	岡山県立矢野高等学校 管楽部	30	岡山大学応援団総本部
12:00	岡山大安寺中等教育学校 吹奏楽部	16:00	カダカガリ
30	岡山商科大学 吹奏楽部	30	岡山県東高校ダンス部
13:00	#おかやまJKnote / @color	17:00	おかやま山陽高校ギター部
30	みんなでピアノ演奏	30	DIVERSITY
14:00	山陽学園大学 うらじゃ部 陣幕	18:00	Amber Luster
30	Earthly	30	僕たちに時間をください

感染症拡大防止対策について

- マスクの無料配布** 本会場にはマスク無料の配布をいたします。マスクを着用していない方に対して、必要に応じてマスクは配布いたします。
- 消毒液の設置** すべての会場入口に消毒液を設置し、経路の消毒を行います。また、施設スタッフを配置して会場内の各所での消毒を行います。
- 経路整理・経路の縮短** スタッフの事前の検閲はもちろん、チケット販売の際にすべての会場への経路を案内いたします。また、経路調整に経路整理が有効とし、経路下流側に案内を行います。
- コイントレーの設置** 経路の案内が難しい箇所にはコイントレーを設置し、経路を案内いたします。
- 消毒液の設置** 経路の案内が難しい箇所には消毒液を設置し、経路を案内いたします。
- 経路の縮短** スタッフの事前の検閲はもちろん、チケット販売の際にすべての会場への経路を案内いたします。また、経路調整に経路整理が有効とし、経路下流側に案内を行います。

活動報告書

■団体名

サンサポートオカヤマ

■支援金配分情報

期	支援金使途	金額
1	おかやま親子応援プロジェクトにおける「妊婦さんのためのマスク」の配布	12,766 円
	おかやま親子応援プロジェクトにおける「学習支援プロジェクト」の運営	28,000 円
2	おかやま親子応援プロジェクトにおける「妊婦さんのためのマスク」の配布	88,000 円

■活動報告

2020年5月9日より岡山県内在住の妊娠中・乳幼児子育て中の方を対象にマスクを支援。きっかけは妊娠中つわりがひどい時期にマスクが息苦しい、においが気になるなどの声が届きました。マスクが必須です。妊娠中のお母さんでも安心して着けることのできる妊婦さん用のマスクに健康祈願のご祈祷もし、郵送しました。合計100名のお母さんに届けることができました。受け取った方からは「肌ざわりもよく息苦しさもおいもない。このマスクのおかげで検診などの外出も快適でした。そして応援してくださる方がいることでコロナ禍の不安な気持ちを和らげ、勇気をもらいました」との声が届きました。マスクというモノの支援だけでなく、優しい気持ちの支援にすることができました。

緊急事態宣言の発令により学校が休校になりました。そんな中、もともと学習の定着に時間がかかるわが子の家庭での学習サポートができない、休校中の宿題が多く、また家庭で教えることが困難であるなどの声がありました。子どもたちも自宅で過ごす時間が多くなり家族以外の大人と話す機会も減りました。先の見えない中、学習への不安が募っていました。学習支援の取り組みにより、子どもの顔が明るくなった、家庭での勉強時間が増えたなどのメッセージを頂きました。



【寄付者のみなさんへのメッセージ】

妊娠中、不安定になる時期もあるお母さんの心にも寄り添う支援となりました。たくさんの方より応援・ご支援頂き本当にありがとうございました。

活動報告書

■団体名

NPO 法人チャリティーサンタ

■支援金配分情報

期	支援金使途	金額
1	困窮世帯を対象としたオンライン学習支援等で活用する物品(ヘッドホン等)の配布費用	30,000 円
2	-	- 円

■活動報告

(取り組んだこと)

新型コロナウイルスの影響を受ける中で急に学習支援や体験の場などのオンライン化が進みました。

色々と必要なものが増える中で、困窮世帯を対象としたオンライン学習や体験に必要なヘッドホンやイヤホンを希望する支援団体を通じて無料配布を行ないました。

フード&ライフドライブ、学習支援の場、プログラミング教室の場などで提供することができ、約200世帯程度に届けることができました。

困窮な家庭の支援をする団体にとっては、なかなか全ての物品の買い揃えることは難しいと思われる家庭も多く、団体・家庭ともに「活動がスムーズにできた」と喜びの声をいただきました。



▲当団体のプログラミング教室でヘッドホンやイヤホンを使って授業を受けている様子

【寄付者のみなさんへのメッセージ】

新型コロナウイルスの影響を受けるなか、集まることが困難となり、オンラインを通じての活動も増える一年となりました。

家庭も勿論ですが、家庭を支援する団体にとっても活動の変更やお金や準備に時間がかかる一年となりました。

そんな中、企業から当団体にたまたま良質なヘッドホンの提供の声をいただきました。私たちだけではそのヘッドホンやイヤホンを活かすことは十分にできなかったかもしれませんが、今回のおかやま親子応援プロジェクトに関わるみなさまをはじめ、家庭支援に関わる団体のみなさまにお届けすることで、家庭への活動の充実化などをすることができました。

みなさまにいただいた寄付金を得て、良質なヘッドホンなどを得ることができ、また活動に参加する家庭のサポートを行うことができました。

心より感謝申し上げます。

活動報告書

■団体名

NPO 法人だっぴ

■支援金配分情報

期	支援金使途	金額
1	おかやま親子応援プロジェクトにおける「オンライン学習支援プロジェクト」の運営	27,500 円
2	おかやま親子応援プロジェクトにおける「オンライン学習支援プロジェクト」の運営	280,000 円

■活動報告

■ 活動背景・意図

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う休校により、学校ではカリキュラムの遅れを取り戻す動きがあり、保護者から「学習スピードに子どもがついていけるだろうか」という不安の声が聞かれました。学習塾などで学習の遅れを補完できる場合もありますが、経済的理由や感染防止の観点から、全ての子どもが学習塾に通えるわけではありません。こうした状況を受け、小学 4 年生から中学 3 年生までの児童生徒において学習支援などをオンラインで実施することで、学習の遅れに不安を抱える家庭への支援を行いました。

■ 活動内容

【集成型学習会「オンラインまなびば」】

サポーターの大学生がオンラインで子どもの宿題を見守ったり、話を傾聴したりしながら過ごし、子どもとの信頼関係をつくりました。6 月～8 月の間に 9 回開催、延べ 26 名が参加。

【個別学習支援「オンラインまなびば 1on1」】

上記「オンラインまなびば」に参加した子どもが、「オンラインの 1 対 1 でも大丈夫そうだ」と感じた後、週 1 回のペースで個別の学習支援を行いました。1 回あたり 30 分～1 時間の範囲で、家庭の希望に合わせて実施。6 月～1 月の間に 203 回実施しました。

■ 成果

- ・ 学習についていけない不安を解消することができました。
- ・ 人と会えない期間が続く中、親でも学校の先生でもない、日常の中にあまりない「大学生とのナナメの関係」という新しいつながりを提供することができました。
- ・ 寄り添ってくれる存在(大学生)がいることで、自尊心や学習意欲の向上が見られました。実際に成績が上がっている事例も生まれました。
- ・ そうした子どもの変化を目の当たりにして、保護者の方も子育てに向かう気持ちが楽になったという声をプロジェクト終了後のヒアリングから多数伺いました。



【寄付者のみなさんへのメッセージ】

この度は、おかやま親子応援プロジェクトにご寄付いただきまして、誠にありがとうございました。子どもたちの豊かな育ちが、親への良い影響を与えるということで、今回のチャレンジを通してよく分かりました。社会全体で子どもや家庭を支えていくことの重要性和、それを肌感覚をもって理解することの大切さ。今後の挑戦に活かしていきたいと思っておりますので、引き続き何卒よろしくお願いたします。

活動報告書

■団体名

NPO 法人岡山 NPO センター

■支援金配分情報

期	支援金使途	金額
1	おokayama親子応援プロジェクトサイトの制作	27,469 円
2	おokayama親子応援プロジェクト企画「コロナ対策ケーススタディ(感染症対策に関するオンライン学習会)」の実施	54,264 円

■活動報告

1. おokayama親子応援プロジェクトサイトの制作

参画団体の募集や取組について紹介するサイトを、作成しました。

報告会の様子なども見ていただけますので、ぜひアクセスしてみてください。

< おokayama親子応援プロジェクト HP >

<http://okayama-oyako.com/>

※ クラウドファンディングの支援金では、上記サイトの前身サイトを作成しました。

2. おokayama親子応援プロジェクト企画

「コロナケーススタディ(感染症対策に関するオンライン学習会)」の実施

●実施時期:2020年10月5日(月)15:00-17:00

●主な対象:子どもや親子を対象とした取組をしている NPO 等

●内容

子どもたちが集まる行事や活動を開催する際、「予防対策は何をすればいいの?」「万が一の感染拡大を防ぐためにはどうすればいい?」など、自分たちの現場で起こっている具体的な悩みや疑問は数多くあります。今回の勉強会では、コロナの感染拡大により子どもたちの体験活動を止めることのないよう、各団体がどのような対策を取ると良いのか、専門家の助言と NPO における事例を通じて学びました。

『公衆衛生学の専門家から学ぶ「コロナ対策ケーススタディ」』

・講師:土居 弘幸さん(岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 特命教授)

・事例報告:①公益財団法人 YMCA せとうち ケース:野外活動

②NPO 法人岡山市子どもセンター ケース:舞台芸術鑑賞

③NPO 法人だっぴ ケース:ワークショップ

当日は、会場参加のほか、YouTube での配信もおこないました。

今でもご視聴いただけますので、ぜひご覧いただき、活動のご参考にさせていただきましたら幸いです。

< YouTube > <https://youtu.be/JFSHsGFIM5A>

●参加者の声

- ・知りたいことを土居先生がデータを示しながら、個人的見解を交えつつ歯切れ良く話してくださった。また、ケーススタディは、岡山の団体の実体験が生々しく公開されていたため、大変わかりやすかった。
- ・自分の団体の活動をする上で、何を対策していけばいいのか考えられるいい機会になった。
- ・土居先生のお話をもう少し聞けたらよかった。



事例報告の場面(左は NPO 法人だっぴの森分さん、右は講師の土居先生)

【寄付者のみなさんへのメッセージ】

本当に大勢の方からご支援をいただき、まことにありがとうございました。子どもたちの育ちを止めないために自分たちができることを、手探りしながらひとつずつ取り組んできた一年となりました。感染防止のために、なかなか体験活動を提供できないというもどかしさを抱えつつ、「なんとか安全に開催し、安心して参加してもらえるような状況をつくりたい」という思いから、今回の勉強会を企画しました。

みなさまからご支援をいただいたおかげで、講師をお招きすることができ、また、動画(クリアな映像と音声)にて記録を残すことができました。その場限りでなく、後々までご活用いただける勉強会が開催できたのは、みなさまのご支援と応援があったからです。

コロナウイルスは依然として猛威をふるっていますが、引き続きみなさまと共に、子どもたちの育ちを支えていくべく、頑張っていきたいと思っております。

心からの応援、本当にありがとうございました。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

活動報告書

■団体名

NPO 法人岡山市子どもセンター

■支援金配分情報

期	支援金使途	金額
1	ひとり親家庭 50 世帯を対象にした鑑賞会へのご招待	350,000 円
2	ひとり親家庭 50 世帯を対象にした鑑賞会への無料ご招待に関する経費	101,600 円

■活動報告

1 期について

(実施内容)

2020 年 11 月 3 日(火・祝)当法人設立 20 周年記念鑑賞会「エルマーのぼうけん」に、ひとり親家庭 50 世帯(100 名)を対象に鑑賞会への機会を届けるため、無料招待の取り組みを行いました。申込方法は、希望の時間帯と参加人数等を記載した-googleフォームに回答してもらう形式をとりました。なお、回答は、親子応援メール配信を通じて募集しました。募集をした翌日には、定員 50 世帯を超える申し込みがあり、申込 74 世帯(184 名)を招待することとなりました。

(成果)

ひとり親世帯の親子にも舞台芸術に触れる機会を届ける仕組みを模索している中、親子応援メールでの配信の結果 100 名を超える申し込みがありました。この親子応援プロジェクトを通じて、今まで当法人だけでは届けることができなかった方々へお知らせをすることができました。当日は、親や友だち、その他様々な人と一緒に生の舞台鑑賞をする時間を提供することができました。

2 期について

(実施内容)1 期で募集をしたひとり親家庭74世帯へ無料招待券を郵送するための封入発送作業を行いました。また、鑑賞会の感想を収集するため返信用の感想用紙と封筒も同封しました。

(成果)

鑑賞会后、参加者から様々な感想をいただくことができました。「すごく面白くて楽しかったです。鑑賞会后、息子が自転車を練習すると初めて乗れました。三半規管に病気があってバランスを取るのが難しく、保育園の時から練習していたのに乗れないから半分諦めていたのですが、乗れたので嬉しかったです。」「今回ひとり親家庭の招待チケットを送っていただき、鑑賞できる日を心待ちにしていました。息子は図書館で借りてきた「エルマーのぼうけん」を何度も読み、実際に人形劇を鑑賞できて感激していました。鑑賞後の帰り、自分の本にどうしてもしたいとエルマーシリーズの3冊の本を購入しました。」などの心温まる感想が届きました。また、これらの感想を親子応援プロジェクトの中間報告書にも記載し、ご支援いただいた方々へこの取り組みが実現したことを報告することができました。また、劇団の方はこのような新しい仕組みに刺激を受け、「まだまだやれることがある」という未来への希望を見出されていました。このプロジェクトがきっかけとなり劇団の方々も勇気づけられたことは当団体にとっても励みになりました。ひとりでも多くの子どもたちや親子に舞台芸術に触れる機会を提供したいということから、懸案事項となっていたひとり親世帯の親子への支援をこのプロジェクトを通じて実現できたことは大きな一歩となりました。一方で、子どものニーズがあること、このような取り組みを継続していく方法も考えていく必要があると感じています。



【寄付者のみなさんへのメッセージ】

みなさまのご支援のおかげでひとり親世帯の親子に舞台芸術鑑賞に触れる機会を届けることができました。感謝申し上げます。引き続き、多くの方々と繋がりながら子どもが豊かに育つ環境づくりに邁進していきます。今後ともよろしくお願いいたします。

活動報告書

■団体名

公益財団法人 YMCA せとうち

■支援金配分情報

期	支援金使途	金額
1	リターンにかかる費用／「【泊まって応援】オーシャンビューテラス付きコテージで家族キャンプできる権利」の宿泊費	130,000 円
	おかやま親子応援プロジェクトにおけるオンライントークライブ実施	175,000 円
2	経済的困窮家庭児童を対象としたキャンプ・スクールの実施と映像制作	315,000 円

■活動報告

①「【泊まって応援】オーシャンビューテラス付きコテージで家族キャンプできる権利」の宿泊費
 実施時期：夏休み
 対象者：ファウンディングに回答して下さった方々にユースセンター牛窓での宿泊提供
 参加人数：30名
 課題ニーズ：独立した安全な環境の中で、小さい単位でのんびり宿泊体験をし、日常を取り戻していただく。
 目的内容：家族親族貸し切りコテージ宿泊キャンプ
 反応感想：安心安全な環境、ゆったりと過ごすことができ良かったとの評価をたくさんいただいた。
 感想：海が近く、自然に囲まれている。一棟貸し切りのため気兼ねなく過ごせた。広々とした空間で開放感がありリラックスできた。コロナ禍で家族旅行を断念する方も多中、夏の思い出を作るために最高の場所でした。キャンプファイヤーや手持ち花火、BBQ に手作りピザ作り。やり残したことがたくさんあるので、機会があればまた利用がしたいです。虫取り網とかごを持って行くと、多くの昆虫に出会え、こどもたちは楽しめます！

②おかやま親子応援プロジェクトにおけるオンライントークライブ実施
 実施時期：2020 年度内月1回ペース
 対象者：各団体の会員・広く市民一般
 参加人数：実施回数 9回 再生回数合計 2234 回
 課題ニーズ：コロナ感染拡大状況の中、各団体が考えるニューノーマルを提示し、共に歩む契機とします
 目的内容：ZOOM ならびに YOUTUBE によるオンライン配信
 感想：OMS 支援により、配信技術が低くても良質のコンテンツを提供できることが分かりました

③経済的困窮家庭児童を対象としたキャンプ・スクールの実施と映像制作
 実施時期：2020 年12月27～29日
 対象者：経済的困窮家庭児童経済的困窮家庭児童(親子応援メール利用による募集)
 参加人数：20名
 課題ニーズ：経済格差が体験格差となっている現況を憂い、困難な状況にあるご家庭のこどもたちこそ、デジタル技術の習得することで、今後の人生をいきる有益なツールとなると確信をもち、事業を計画しました。
 目的内容：日帰り3日間の映画作り教室の実施
 内容決定、シナリオ、撮影、編集全てをこどもたちがグループで考え実施しました。
 感想：
 毎回、色々と楽しい時間を作って頂き、ありがとうございます。子供自身、YMCA のプログラムを大変気に入っており、参加できることをとても喜んでいきます。今後も、よろしく願いいたします。
 適切な、丁寧な関わりを持ってくださりありがとうございました。子供達の見本となるような素晴らしい方々で感動しました。
 ”3 日間、お世話になりました。子供から楽しい！と聞いて嬉しかったです。安心して任せることが出来ました。ありがとうございました。制作した動画も楽しく拝見しました。お土産のヘッドフォンもありがとうございました。ぜひまた参加したいと思います。”

”個人の意見をしっかりと聞いてくださってありがとうございました。よい体験ができたと思います。”
みんな明るいし、楽しかったから楽しく参加出来ました。また機会があれば参加したいです。

知らない人の中での活動だったので、そういう子供への配慮や支援が大変だったかと思えます。おかげで大変楽しめたようです。ありがとうございました。

子どもに寄り添ってサポートして下さったおかげで、良い経験として心に残ると思えます。ありがとうございました。

”この度は 3 日間大変お世話になりました。学校でプログラミングの授業が始まり、少し興味を持っていた程度での参加でしたが、初心者にも丁寧に御指導下さりありがとうございました。

自分達で案を出し合い、役割分担をして動画を作りあげたことで、達成感を感じられる事が出来たようです。

今回体験した時間がこれからの息子の人生にとって何かのきっかけになれば嬉しいなと思っております。

コロナ禍中でのキャンプで、感染対策にも気を配りながらの活動、大変な事もあったかと思えます。最後まで事故なく無事に終わることが出来たことは、リーダーを始め、御指導下さったOMSの方、YMCA の方々の御協力とご支援のおかげです。またこのような機会がございましたらぜひ参加させていただきたいと思えます。ありがとうございました。”

参加させていただいて、とても楽しかったみたいです。パソコンに触れて自分で作ったり、皆で楽しく過ごしたことがとても思い出に残ったようで帰ってから生き生きしていました。コロナで大変中、参加させていただきありがとうございました。また機会がありましたら、宜しくお願ひいたします。

皆さまのおかげで楽しんで通えました。ありがとうございました！



【寄付者のみなさんへのメッセージ】

コロナの中だからこそ、やるべき課題がたくさんあると認識できた機会でした。これからも子どもとその家族の育ちを止めないために、さまざまな支援活動を継続していきます。何卒ご支援のほど、よろしくおねがいします。

活動報告書

■団体名

おかやま親子応援プロジェクト

■支援金配分情報

期	支援金使途	金額
1	リターンにかかる費用／中間報告書作成、発送、缶バッジの作成にかかる費用	41,993 円
	支援金配分にかかる振込手数料	1,650 円
2	中間報告書作成費用	216,710 円
	支援金配分にかかる振込手数料	1,320 円

■活動報告

クラウドファンディングでご支援をいただいたみなさまへのリターンとして、全員へお送りする「プロジェクトの中間報告書」、10,000 円以上のご支援をいただいた方へお送りする「おかやま親子プロジェクトサポーターの証(缶バッジ)」の2点について、このたびお寄せいただいた支援金によって作成し、おひとりおひとりへお送り致しました。(※リターンを辞退された方、缶バッジのリターンを含まない「泊まって応援」を選ばれた方を除きます)

◆支援金配分にかかる振込手数料

各プロジェクト参加団体の活動計画・報告をもとに、お寄せいただいた支援金の配分を行いました。配分先・配分額については呼びかけ人全員での協議のうえで決定しております。その資金を各団体へ送金する際の振込手数料について、本支援金から支出させていただきました。

◆中間報告書

クラウドファンディングページの「新着情報」やプロジェクトの Facebook ページ等ではお伝えしきれなかった、プロジェクトで実際に行ったこと／参加・利用いただいた方の声を積極的にお伝えること、またプロジェクト呼びかけ人からのお礼の言葉を皆様へお伝えさせていただくことを目指し作成致しました。編集アドバイザーとして、楽天グループによる「Rakuten Social Accelerator」を通じてプロジェクトへ参加いただいた社員の方にボランティアで関わっていただいたほか、誌面デザインは岡山で子ども支援にも積極的に関わられているデザイナーさんへお願い致しました。なお発送費を当初予定より多く必要としたため(住所不明による再送等)、予算額と実績額との差額分をクラウドファンディング以外の資金源で負担しています。

※報告書の PDF データを公開しています。 <http://okayama-oyako.com/2021/02/01/report/>

◆おかやま親子プロジェクトサポーターの証(缶バッジ)

本プロジェクトのキャッチフレーズのひとつである「#だれもひとりではない」をモチーフとして缶バッジを作成致しました。コロナ禍で課題を抱える親子の存在、その方たちを支えようとする各団体の取り組み、そして本プロジェクトについて思いを寄せていただくきっかけとなれば幸いです。



【寄付者のみなさんへのメッセージ】

改めまして、このたびは本プロジェクトへのご理解とご支援、また温かい応援をいただき誠にありがとうございました。新型コロナウイルスによる感染症の拡大は残念ながら今日においても続いており、私たちの取り組みも形を変えながら継続していくことを予定しております。活動のご報告についてもより充実させ、みなさまへお伝えできればと思いますので、今後とも引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。

いま、伝えたい。

おかやま親子応援 プロジェクトレポート

2020年5月～6月に実施したクラウドファンディングの
結果報告とこれからのお話



発行人



おかやま親子応援 プロジェクト

—— 呼びかけ人 ——

公益財団法人 YMCA せとうち
代表理事 太田 直宏

NPO法人岡山市子どもセンター
代表理事 美咲 美佐子

NPO法人岡山NPOセンター
代表理事 石原 達也

サンサポートおかやま
代表 ボウズ 満恵

NPO法人だっぴ
代表理事 森分 志学

NPO法人チャリティーサンタ
理事 河津 泉

—— 編集メンバー ——

公益財団法人 YMCA せとうち
有安 紀

NPO法人岡山市子どもセンター
久川 春菜

NPO法人岡山NPOセンター
北内 はるか

—— SpecialThanks ——

編集アドバイザー
前川 達彦
(楽天株式会社)

イラスト
ゆっきー

写真
有安 紀

デザイナー
杉原 禎章

お
問
合
せ
先

おかやま親子支援プロジェクト事務局
特定非営利活動法人岡山NPOセンター内

〒700-0822 岡山市北区表町1丁目4-64 上之町ビル3階
TEL:086-224-0995 FAX:086-224-0997
E-mail:okayama.oyako@gmail.com



ウェブサイト
okayama-oyako.com



Facebook
@okayama.oyako

noteでも発信中! おかやま親子応援プロジェクト



#だれもひとりではない



「おかやま親子応援プロジェクト」が目指したこと。
それは、「だれもひとりではない」
岡山で暮らすすべてのご家庭に
そのメッセージを届けることでした。
クラウドファンディングにご参加いただいた皆さまのご支援は、
資金面だけではなく、
私たちが活動続ける心の支えにもなりました。
心から感謝を申し上げます。
まだ道半ばではありますが、
私たちの活動の「これまで」と「これから」を
1冊にまとめました。
皆さまのおかげでこの街に
多くの笑顔が生まれたことを
少しでも感じていただけたらと思います。



おかやま親子応援プロジェクト

クラウドファンディング実施結果

実施期間

5月 13日 ~ 6月 25日

支援人数

422人

支援総額

3,752,000円

呼びかけ人 メッセージ

NPO法人だっぴ



もりわけ しがく
森分 志学

この度は、おかやま親子応援プロジェクトにご寄付いただき、誠にありがとうございます。皆さんの寄付によって、(大げさかもしれませんが)子育てを各家庭が個別で頑張るだけでなく、社会全体で支える世界に少し近づいたのではないかと思っています。例えば、私たちの活動で言えば、子どもに関わる他者として、親と先生という存在に加えて、大学生のお兄さん・お姉さんが加わり、子どもの社会関係資本が少し豊かになりました。そのつながりの豊さが、子どもたちに良い影響を与え始めていて、そのきっかけを作ってくれたのが、この度のご寄付だと考えています。チャレンジは続きますが、引き続きの応援、どうぞよろしくお願いいたします。

NPO法人
岡山市子どもセンター



みさき みさこ
美咲 美佐子

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、子どもの状況はどうなるのだろうかという思いから、「だれもひとりではない、心の手でつながり続けよう!」と始まったおかやま親子応援プロジェクト。多くの方々のご寄付により、さまざまな動き、多様なプログラムを届けることができました。当法人でも、今までできなかったひとり親家庭に対する鑑賞会への「招待が、この度、大型人形劇「エルマーのぼうけん」で実施することができました。感謝の気持ちでいっぱいです。今後もすべての子どもたちが豊かな子ども時代を過ごすことができる社会を皆さまで作っていきたく思います。

米

津玄師さんのCD、ストレイシープ。タイトルは新約聖書の迷える羊のお話の引用で、ジャケットには羊のマスクを被った人が描かれています。楽曲の中に、こんなフレーズがあります。「列なす様に演劇は続く今も新たに羊は迷う」。実に迷える羊とは、助けるべき「誰か」ではなく、「私たち自身」のことだったので。安富歩さんの著書「生きる技法」には「自立とは多くの人に依存すること」と書かれてあります。「助けてください」と言えた時こそ、私たちは自立できるのだと学びました。互いが助け合うこのプロジェクトへのご協力の心より感謝するとともに、困った時にはどうぞ「助けて」とお申し出下さい。

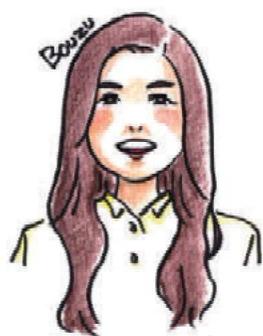
公益財団法人
YMCAセトうち



おおた ただいほ
太田 直宏

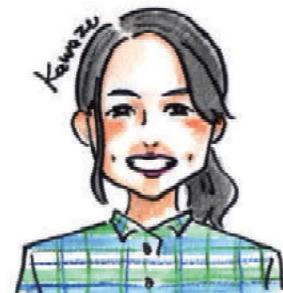
一人でも多くの子ども、親、家庭とつながり、助け合い、誰一人取り残さずに、世界的な危機を乗り越えることを目指し、立ち上がったおかやま親子応援プロジェクト。皆さまが想いを寄せてくださりお力添えをくださったことが大きな励み、大きな力となりました。たくさんの方のご支援とご協力、そして応援を頂き本当にありがとうございます。このプロジェクトは、「コロナ禍でも日々成長し続ける子どもたちの「育ちの時間を守る場」のひとつとなっています。そして子育て家庭のサポートの場にもなっています。たくさんの方の親子の笑顔を作り出すことができます。心より感謝いたします。

サンサポートおかやま



ぼうず みつえ
ボウズ 満恵

NPO法人
チャリティーサンタ



かわづ いずみ
河津 泉

今回の新型コロナウイルスの感染拡大を受け、ひとり親世帯や従来からしんどさを感じているご家庭はより厳しい状態におかれています。今回、困窮世帯の多くは「頼れる人がいない」と感じていることもわかりました。多くの方が孤立感、しんどさを感じているなかで「誰かが自分を想ってくれている」と実感できることは、心の支えになると信じています。皆さまの寄付により、さまざまなプロジェクトが生まれ、情報配信事業を通じ、多くの家庭に必要なものとして届けることができました。あらためて家庭の皆さまに寄り添っていただき、感謝いたします。

NPO法人
岡山NPOセンター



いしはら たつや
石原 達也

の取り組みを支えてくださり、ありがとうございます。この間、アメーバのように各組織が繋がりが、増えながらそれが現場での調査と試行を重ねて、コロナの状況に対応してきました。体験、学習場、そして情報の不足。これを補う取り組みが民間連携、そして行政との協働で進んでいます。「毎月毎月、生活が苦しくて子どもたちに不憫な思いをさせている」という生活の不足にも応えようとはじまった、北長瀬コミュニティフリッジ(※)では100以上の困難を抱えるひとり親世帯の方に食料品等を繋いでいます。まだまだではありますが、積み上げてまいります。

※北長瀬コミュニティフリッジ：北長瀬コミュニティフリッジ(公共冷蔵庫)は、食料品・日用品の支援を必要とされる方が、時間や人目を気にせず、24時間都合が良い時に提供される食料品・日用品を取りに行ける仕組みです。

おかやま親子応援プロジェクトの **これまで**

●プロジェクトの動き

■世間の動き

- 4月16日：「緊急事態宣言」全国に拡大 13 都道府県は「特定警戒都道府県」に
- 4月20日：岡山県、県南部の県立の高等学校や特別支援学校等の臨時休業の実施（4月20日～5月6日）
岡山県、県立学校の一斉臨時休業の実施（4月20日～5月31日）

● 4月21日 おかやま親子応援 プロジェクト発足



- 5月4日：政府「緊急事態宣言」5月31日まで延長

- 5月6日：プロジェクトの呼びかけ人会議開催。プロジェクトの方向性、実施体制について検討
- 5月9日：「妊婦さんに妊娠中でも安心できるマスクを届けたい@ハレハハプロジェクト」を通じ、物資の募集を開始（11月11日郵送にてお届け）
- 5月13日：「移住者と地元のパイプとして交流の場を作ってきた親子に必要な応援を @ おいでんせえ岡山」を通じ、物資の募集を開始同日、クラウドファンディング「晴れ！フレ！岡山」を通じた支援金の募集を開始

- 5月14日：政府、緊急事態宣言を 39 県で解除。8 都道府県は継続

- 5月17日：「ハッシュタグ岡山」にて、高校生・大学生向けにコワーキングスペース、および Wi-Fi の無料提供を通じた学習支援を開始
- 5月19日：NPO 法人だっぴが中心となり、オンラインでの学習支援「まなびば」をプレ開催 11月までに集合型「まなびば」を計7回、一対一の「まなびば 1on1」を134回開催 大学生サポーター14名が参加
- 5月27日：「マスクを必要としている子育て親子に、支援団体を通じて政府配布の白マスクを届けたい！@cococara okayama&くらしのたね」を通じ、物資の募集を開始（11月21日に岡山市母子寡婦福祉連合会へ寄贈）
- 6月9日：プロジェクト参加組織による情報交換会を開催

- 6月12日：コロナ禍で活動の自粛が求められる中、子どもたちの体験活動の必要性をあらためて発信する「育ちを止めるな！宣言」を発表



●プロジェクトの動き

■世間の動き

- 6月25日：クラウドファンディング終了 目標金額3,000,000円に対し 422人のみなさまから **3,752,000円**のご支援をいただく



- 6月28日：世界の感染者 1000 万人超える

- 7月9日：楽天社員をゲストとして招き、中学生～高校生を対象としたオンライン異年齢交流「オンラインで会おう」を開催
- 7月17日：岡山市および岡山市社会福祉協議会との協働で「おかやま親子応援メール」の配信開始 就学援助や児童扶養手当受給世帯を中心とした 1827 件を対象に、11月末までに 22 件のメールを配信



- 7月18日：世界の死者 60 万人超える岡山では、7月中旬から8月初めにかけて岡山市中心部のキャバクラなど 3 店舗でクラスター（感染者集団）が相次ぎ、第2波のピークとみられる
- 7月28日：国内の死者 1,000 人超える（クルーズ船除く）
- 7月29日：国内の1日の感染者 1,000 人超
- 8月11日：世界の感染者 2000 万人を超える
- 10月25日：岡山県内での感染確認が再陽性を除いて 200 名を超える

- 10月5日：「公衆衛生学の専門家から学ぶ『コロナ対策ケーススタディ』」をプロジェクトの主催により開催
- 11月3日：NPO 法人岡山市子どもセンターが主催する「エルマーのぼうけん」へひとり親家庭の親子を対象に観劇のご招待
- 11月20日：北長瀬エリアマネジメントが「コミュニティフリッジ」をスタート



エルマーのぼうけん



コミュニティフリッジ

【期間中の活動】

- NPO 法人志塾フリースクール岡山により、コロナ禍でフリースクールへ来られない家庭へのアウトリーチ（訪問対応）を実施
- NPO 法人東備子ども NPO センターにより、無料の個別相談の拡充および個別学習支援を実施
- NPO 法人あかねにより、ネット環境が整っていない家庭へタブレットを用いたオンライン学習支援を実施
- 一般社団法人医と食でつながる瀬戸大橋 LINE laborator により、コロナ禍におけるひとり親家庭等への支援物資を提供
- 岡山移住交流の会カモミールにより、移住された方と地域の方とが繋がりを楽しく過ごせるような交流会を開催するために必要な衛生用品や、そこで子どもたちが遊ぶために必要な遊び道具等を購入
- YMCA せとうちが主催する、小中学生を対象とした「プログラミング映像制作スクール」を実施



「こ」支援を基に実施した各団体の活動報告！

や期待に責任の重さを感じるとともに、多くの方々のご希望に沿うことができなかったことは、今後の課題になりました。人形劇団ブークのご協力もあり、当初考えていたステージ数を1から2ステージに増やし、座席を一席ずつ空ける、検温や手指消毒をはじめ、会場の消毒など新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底して臨みました。当日は、2ステージとも500名を超える参加があり、親子で舞台上に釘付けになり楽しんでる様子に主催者として大きな感動を覚えました。



▲参加者がアンケートに描いてくれた絵

し、子どもの育ちが危惧されています。当法人としてもおこやま親子応援プロジェクトなど多くの方々との繋がりが子どもが豊かに育つ環境づくりに邁進していきます。

参加者の声

なかなか子どもにこのような劇を見せてやる事ができないので大変うれしかったです。

親子で楽しめました。ソーシャルディスタンスでゆったり見ることができてとてもよかったです。

毎日、仕事と家事に追われ、子どもと遊ぶ時間がとれない中、**子どもと一緒にみる劇はとても貴重**で思い出になりました。席の近くの方々には「同じシングルマザーなのかな」などと思いつつ話しかけることもできず終わってしまいました。シングルマザーとその子どもたち同士も**交流できる機会があると嬉しいです。**本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願いたします。

今回ひとり親家庭の招待チケットを送っていただき、鑑賞できる日を心待ちにしていました。

息子は図書館で借りてきた「エルマーのぼうけん」を何度も読み、実際に人形劇を鑑賞できて感激していました。

鑑賞後の帰り、**自分の本にどうしてもしたいとエルマーシリーズ3冊の本を購入しました。**

コロナで大変なことばかりだったと思いますが、素晴らしい人形劇を子どもたちに観せていただき本当にありがとうございました。

エルマーが強い信念を持って困難に立ち向かっていく姿にとても心を打たれました。息子もこれから起こるであろうさまざまな困難や試練にめげずに立ち向かっていってほしいなと思いました。動物たちやダンプやトラック達の悪者だけに憎めない愛らしき存在にほっこりと笑顔になれました。

息子はズーッと笑いながら引きつけられて夢中で観ていました。

「エルマーのぼうけん」の招待が決まり、その時からすごく楽しみにしていたお母さんからのメールです。

すごく面白くて楽しかったです。観て帰って、昼食のあと、**息子が自転車を練習すると初めて乗れました。**

三半規管に病気があってバランスを取るのが難しく、保育園の時から練習していたのに乗れないから半分諦めていたのですが、乗れたので嬉しかったです！

ひとりでも多くの子どもたち、親子に舞台芸術鑑賞の機会を届けたい 大型人形劇「エルマーのぼうけん」 ひとり親世帯の親子74世帯をご招待

お かやま親子応援プロジェクトのクラウドファンディングに多くの皆さま方からご寄付をいただきました。おかげで、11月3日(火・祝)NPO法人岡山市子どもセンター設立20周年記念鑑賞会「エルマーのぼうけん」へのひとり親世帯の親子74世帯184名のご招待が実現しました。

当法人は、ひとりでも多くの子どもたち、親子に舞台芸術に触れる機会を提供したいと児童養護施設の子どもたち、2011年の東北大地震による広域避難親子を鑑賞会に招待していました。また、ひとり親世帯の親子にも届けるためのしくみをつくりたいとずっと模索していました。

この度、9月15日の夕方に親子応援メールでご案内を配信していただくと、なんと翌朝には募集定員100名をはるかに超える申し込みがありました。子どもの豊かな感性や想像力を育てる舞台芸術鑑賞へのニーズの高さ

YMCAせとうち



「支援を基に実施した各団体の活動報告！」



さまざまな活動をオンライン化&再開！ 仲間とともに知恵をめぐらせ、育ちを支援

コ ロナインパクトを受けた4月下旬より、急ぎオンラインのプログラム開発に取り組み、まずは「野外活動友の会」の定例会のオンライン化を行いました。映像と音声の配信プロであるライブハウス「トルネード(現・OMS)」とのコラボのおかげで、結果は大成功。ここからトントン拍子でさまざまな活動のオンライン化を実現し、今日に至っています。

GW中のオンライン活動

- 1 野外活動友の会**
メンバー86名、リーダー14名が参加。まだ目新しさがあり、NHKテレビの取材が行われました。
- 2 カレーコンテスト&おはなし会**
岡山の方に加えて他県に転出した方の飛び入り参加もあり、70名でリアル「どこでもドア」のようなオンラインのメリットを実感しました。
- 3 朝のつどい**
連休から5月末まで毎日ラジオ体操を行い、のべ1,000名以上

が参加。「生活リズムが整う」と大好評でした。

4 こどもの日・本物体験プレゼント

プロの指導の下、3つの「工作」ワークショップを実施。45組の家族にクラフト用品を事前につけ、各家庭で楽しい子どもの日を過ごしていただきました。

5 おかやま親子応援プロジェクト

立ち上げ時のオンライン会合に企画させていただきました。仲間に加えていただきました。ここから多くのご支援をいただき、活動を加速化できました。

6 オンライントークライブ

10回の連続講演会を経て、「ニューノーマルが生み出す『不信と分断』に与しないために、フィジカルディスタンス(肉体的距離)は広げつつも『ソーシャルディスタンス(社会的支援の距離)』は縮める必要がある」という気づきを得ました。

活動の再開

夏休み以降、一時は今年度の全てのキャンプの中止をも検討しました。しかし、世間が皆自粛するような状況を目的に「子どもたちの育ちを止めてはいけない」と確信するに至りました。そこで、日帰りプログラムの実施数を大幅に増やし、高学年も参加可能な特徴づけも工夫しました。

新たな試みとしてプログラミングスクールも実施し、映像製作やウェブデザインなどにも取り組まれました。プロジェクトからの寄付のおかげで経済的困窮状態にあるご家族のご招待も多数実現し、充実の内容となりました。パスカルは、「人間は考える葦である」と述べ、人生の目的はしあわせになることであると看破しています。私たちもこれに倣います。コロナだから出来ない！と決めつけず、何とか知恵をめぐらし、育ちを支援します。

小さく弱い葦ながら、この状況下で考える葦であり続けたいと願っています。

参加者の声

内容がよく考えられている。
リーダーから学ぶことが多い。

コロナ禍でも出来ることをやっていくという
YMCAの姿勢に親として頭が下がる思いです。

憧れのリーダーのもと、新しい仲間もでき、
ひとつひとつの体験が子どもをとっても成長させてくれたと思います。
グループリーダーがよく話を聞いてくださったり、困った時にサポートしてくださったようです。ありがとうございました。

尊敬できる、早く会いたいと思えるリーダーたちとの出会いは、
本人にとっても、将来の自分のお手本になるに違いないと思います。



NPO法人

だっぴ



子どもたちにとっての新しいつながり「オンラインまなびば」による親でも学校の先生でもないナナメの関係づくり

「オンラインまなびば」は、学校の学習スピードにはついていくのが難しい小学生が「できた!」「分かった!」の体験を、その子のペースで実現することを目指します。

コロナ禍の休校によるカリキュラムの遅れを取り戻す必要がある学校において、子どもにも保護者にも「その学習スピードに全ての子どもがついていけるだろうか」という不安がありました。学習塾などで学習の遅れが補完できればよいのですが、子ども全員が学習塾に通えるわけでもありません。本プロジェクトでは、そうした学習の遅れに不安を抱えるご家庭を支援すべく、大学生が子どもたちの勉強のサポートなどをオンラインで実施しています。「オンラインまなびば1on1」では、週1回30分~1時間程度、小中学生が大学生と1対1で勉強を頑張っています。自分の家からオンラインで大学

生とつながって行う学習は、親でも学校の先生でもない「ナナメの関係」という、子どもたちの日常の中にはあまりない新しいつながりです。そうした寄り添ってくれる存在がいることで、自尊心の向上にもつながっているように思います。

非認知能力だけでなく、実際に成績が上がっている事例も生まれてきていて、良い関係性の中で学習ができています。子どもと大学生は勉強以外の話もしたりしていて、こうしたよりよい学習環境と新しい関係性を整えることができます。また、その派生として、「オンラインで話そう」というスピノフイベントも実施しました。この回には、楽天株式会社社員さんがボランティアとして関わってくれたりもしました。

どこにいてもネット環境さえあれば学習出来るメリットは我が家のような僻地に住んでいる家庭はとても助かります。

どこにいてもネット環境さえあれば学習出来るメリットは我が家のような僻地に住んでいる家庭はとても助かります。

受益者の声

本人のペースで学習を進めていただける点がとてもありがたいと思います! 特に我が子の場合は通常の授業だけではついていけず困っているので、個別に丁寧に教えて頂けることにより、少しずつ分かる問題が増え自信に繋がっています。

NPO法人 チャリティー サンタ



どの家庭もとりこぼさないために おかやま親子応援メールの配信

おかやま親子応援プロジェクトのひとつの事業として、おかやま親子応援メールの配信を開始しました。現在、ひとり親世帯やコロナの影響でしんどさを感じているご家庭に情報をお届けしています。

ご家庭のアンケートをみると新型コロナの影響を受けた困りごとを抱える家庭はとても多く、また困りごとがしばらく持続し

受益者の声

毎回多彩な内容で、メールだけでも楽しませていただいております。コロナと酷暑で命の危機を感じたり不安な気持ちが渦巻くご時世ですが、少しでも子どもに楽しい思いをさせてあげたいと思います。本当にありがとうございます!

そうであるという回答となりました。ニーズの高かった生活支援や子どもの体験活動、そして届きにくい行政の支援策など、さまざまな情報を毎週配信しています。その情報配信の中に今回のクラウドファンディングを通じて生まれた企画も多く配信しています。

どのご家庭もとりこぼさないために、今後もひとつひとつのご家庭にしっかり向き合った情報を届けていきたいと思

2020年春、コロナ禍で緊急事態宣言が発令される中、新しい命を宿ったお母さんに出会いました。本来はおめでたい出来事ですが、お母さんは世の中の雰囲気を見ていると「妊娠している」と周囲に伝えることが気が引けると言いました。そんな中で始まるつわり。外出にはマスクの着用が必須ですが、息苦しさやつわりによりにおいに敏感になっていることでマスクが苦痛との声がありました。

そこで妊婦さんでも心地よく着用できるマスクを、妊娠中や乳幼児を抱えるお母さん100人に届けることにしました。マスクに健康祈願のご祈祷もし、郵送しました。受け取ったお母さんからは、「肌ざわりもよく、息苦しさもおいもない。このマスクのおかげで検診などの外出時も快適でした。そして応援して下さる方がいることでコロナ禍の不安な気持ちをやわらげ、勇気ももらいました。」との声がありました。マスクというモノの支援だけでなく、そこに皆さまからの温かく優しい気持ちの支援も受益者の方にお渡しすることができました。

受益者の声

不安の中での妊娠期間でしたがクラウドファンディングでたくさんの方が応援してくださることを知りとてもうれしかったです。

つわり中の息苦しさを心地よさに替えてくれるマスクのご支援ありがとうございました!

妊婦さん同士で集うことができず様子がわからない中、みなさんの気持ちが支えになりました。そして無事に元気な赤ちゃんを出産することができました。ありがとうございました。



妊婦さんでも心地よく着用できるマスクを届けたいモノの支援と温かく優しい気持ちの支援

サンサポート おかやま

おかやま親子新聞

2020年
12月

おかやま親子支援
プロジェクト事務局
〒700-0822
岡山市北区美町1丁目4-64
上之町ビル3階
TEL:086-224-0995
FAX:086-224-0997

ウェブ
サイト
okayama-oyako.com

おかやま親子応援プロジェクト参加組織

一般社団法人 医と食でつながる瀬戸大橋 LINE laboratory

30世帯の対象の敏感さん織細さん親子に、石油系を使用していない洗剤、除菌スプレーの配布を行いました。コロナ対策用の洗剤など、織細な妊婦さんや、親子さん、マスクのできない子供さんにとってもありがたがられております。本当にありがとうございます。



くらしのたね & cococara okayama

5月よりくらしのたねが政府マスク回収拠点として集めた結果、皆様のご協力のおかげで約200枚のマスクを集めることができました。次はお渡しする先と、お渡しする方法、ニーズを考えていたところ、政府マスクそのままではなく、リメイクマスクのニーズがありましたので、くらしのたねにて6回のボランティア活動を開催、60枚のリメイクマスクを岡山市母子寡婦福祉連合会様にお渡しすることができました。たくさんの方がこのプロジェクトに共感してくださり、一緒に手を動かしてくださったこと、本当に感謝しております。今のニーズと照らし合わせながら、残りのマスクの活用方法を考えていきたいと思います。



子育て広場 まんなか

子育て世代と地域を繋ぐ場を、より安心安全にするために。
@子育て広場まんなか



岡山移住交流の会カモミール

支援金で、「移住された方と地域の方が繋がりが楽しく過ごせるような交流会を開催するために必要な衛生用品や、そこで子どもたちが遊ぶために必要な遊び道具等」を購入しました！

サンサポート オカヤマ



NPO法人 チャリティー サンタ



一般社団法人 おいでんせえ 岡山



NPO法人 オカヤマ ビューティ サミット



NPO法人 あかね

公益財団法人 YMCA せとうち



特定非営利 活動法人 だっぴ



NPO法人 岡山市 子どもセンター



特定非営利 活動法人 東備子ども NPOセンター

NPO法人 みんなの劇場 おかやま

志塾 フリースクール岡山

NPO法人 真庭あぐり ガーデン プロジェクト

OMS おかやま メディアサポート

NPO法人 子育て 応援ナビ ぽっかぽか

CAP おかやま

認定 NPO法人 子ども シェルター モモ

CoderDojo 岡山

日本子ども サポーター

黒住教 青年連盟

NPO法人 よりはぐ プロジェクト

岡山子育て 体験活動グループ HUG+KUMU ~はぐくむ~

ママライン

飛鳥 ガーディアン グループ

北長瀬 エリア マネジメント

秋田智恵子様 磯打千雅子様 長尾千枝様 花田洋通様

御礼

ご支援いただいた皆様

2020年6月25日までクラウドファンディング「晴れフレ岡山ー Supported by READYFOR」上で実施しました「#だれもひとりではない | おかやま親子応援プロジェクト」を通じてご支援をいただき本当にありがとうございました。目標金額3,000,000円に対し、次にご紹介する皆さまをはじめ、422人の皆さまから3,752,000円のご支援をいただきました。

小橋 公認会計士 総合事務所

- コミュニティヘルス研究機構
- 株式会社えんのした
- 株式会社マスカット薬局
- 司法書士あかぎ法律事務所
- 株式会社三美産業
- 株式会社イマイ
- 一般社団法人 鍵盤ハーモニカ教育 LABO
- 岡山トヨタ車体株式会社
- リトミック&モンテッソーリ 教室(オトノハ)
- 岡山トヨタ自動車株式会社
- 株式会社 岡山トヨタシステムサービス
- 岡山トヨタロジック株式会社

株式会社 Elever~エルヴェ~ エルヴェスペース 岡山駅前オフィス

Rakuten Social Accelerator

楽天 ソーシャル アクセラレーター

「Rakuten Social Accelerator」は2018年に開始した、楽天のテクノロジーやアセットを活用し、社会起業家をはじめとするさまざまなステークホルダーと楽天の社員が協働して社会課題の解決を目指すソーシャルイノベーションプログラムです。2020年はコロナ禍の中、「RSA online」と題してオンラインでの活動に取り組んでいます。おかやま親子応援プロジェクトでは、呼びかけ人・参加団体のインタビュー記事作成などの広報活動や、オンラインによる多世代の交流会などで楽天社員有志の皆さんに協力いただきました。

ご参加いただいた社員のみなさま(敬称略)

石井 香、海津 早耶香、染谷 実里、寺部 妙香、中村 敦、首藤 萌、徳富 太郎、前川 達彦、李 逸文、川村 享由、中川 千絵美、竹内 周、住川 七夢

その他のご支援者名はウェブサイトに掲載させていただいています！

岡山親子応援プロジェクト <http://okayama-oyako.com/thankyou>

NPO法人岡山市子どもセンター
久川 春菜



「だれ一人取り残さない」という言葉の重みにもあらためて気づかされました。また、一人では解決できないことも、同じ想いを持った人と繋がることで解決できるということを実感しました。これからも持続可能な方法をみんなで見出し、活動を継続していけたらと思います。

後編 編集

山は、「岡山4聖人」と呼ばれる日本の社会福祉の先駆者が存在する地であり、点字ブロック発祥の地でもあります。時を経て2020年5月、「何かできることはないか」と、先人のような想いをもった呼びかけ団体の人々がパソコンの画面上に集結し、想いが共鳴し、繋がりが、プロジェクトが動き出しました。

岡

山は、「岡山4聖人」と呼ばれる日本の社会福祉の先駆者が存在する地であり、点字ブロック発祥の地でもあります。時を経て2020年5月、「何かできることはないか」と、先人のような想いをもった呼びかけ団体の人々がパソコンの画面上に集結し、想いが共鳴し、繋がりが、プロジェクトが動き出しました。

団体名： おかやま親子応援プロジェクト

活動計算書

2020年4月21日～2021年3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額
I 経常収益	
1 受取寄付金	
受取寄付金(クラウドファンディング)	3,752,000
2 受取助成金	
(岡山県) 地域パワーアップ事業	200,000
(福武教育) コロナ緊急助成	300,000
(岡山市) 子どもの居場所緊急助成	1,000,000
3 その他収益	
受取利息	0
雑収益(地域再生大賞賞金)	100,000
経常収益計	5,352,000
II 経常費用	
1 事業費	
(1) 親子応援メール	
チラシ印刷費	100,260
ウェブサイト構築・管理費	33,662
企画協力費(人件費)	385,842
親子応援メール計	519,764
(2) 学習支援	
学生アルバイト人件費	536,000
運営協力費	374,880
支払い手数料	19,932
学習支援計	930,812
(3) プロジェクト配分	
第一期配分 ※1	1,292,775
第二期配分 ※2	1,673,000
CF全体共通経費(報告書・手数料等)	311,097
READYFORへの支払手数料	412,720
プロジェクト配分計	3,689,592
事業費計	5,140,168
2 管理費	
(1) 人件費	
役員報酬	0
給料手当	0
人件費計	0
(2) その他経費	
業務委託費	0
地代家賃	0
雑費	0
その他経費計	0
管理費計	0
経常費用計	5,140,168
当期経常増減額	211,832
当期正味財産増減額	211,832
前期繰越正味財産額	0
次期繰越正味財産額	211,832

<備考>

- ・※1 第一期配分の内訳はこちら
https://readyfor.jp/projects/okayamaoyako/accomplish_report
- ・※2 第二期配分の内訳はこちら
<https://readyfor.jp/projects/okayamaoyako/announcements/152676>